

アフターサービス

●保証書(別紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

●下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

●紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiter.co.jp/>

BU-DRHD645T

取扱説明書 12V/24V車対応



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ソフトは、付属のSDカード内に収録されていません。
お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。
(<https://www.yupiteru.co.jp/>)

 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源OFFしてからSDカードを抜いて保管してください。

 電源ONの状態でのSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、POWER(緑)が3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。

 SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

基礎知識

各部の名称と働き 10

1. 付属品 11
2. 別売品 11

SD カードの装着 / 取り外し 12

1. SD カードを本機に装着する 12
2. SD カードを本機から取り外す 12

SD カードカバーの交換 13

1. SD カードカバー (SD カード抜き差し不可) を本機に装着する 13

録画について 14

1. 常時録画 14
2. イベント記録 (G センサー記録 / ワンタッチ記録) 15
3. マルチトリガー 16
4. 上書きモード 16

メンテナンスについて 17

設置と準備

全体接続図 18

本機の取り付け 20

1. 本機の取り付け 21
2. 電源を接続する 23

別売品の取り付け 26

1. 広角サブカメラ (OP-CM204S) の接続方法 27
2. 周囲サブカメラ (OP-CM363S) の接続方法 29
3. IR サブカメラ (OP-CM206IR) の接続方法 30
4. オプションカメラ中継ユニット (OP-CRU1) の接続方法 31

準備する 32

1. 専用ソフトをインストール 32
2. 設置角度検出をする 33

3. 本機の準備 36

4. ワンタッチ記録の動作確認 37

5. 記録映像の確認 38

専用ソフト

専用ソフトの使いかた 40

1. 録画データの準備 40
2. 画面説明 42
3. 表示エリアの操作 48

再生する 52

1. 録画データを再生する 52

保存する 56

1. バックアップ 56
2. 動画変換 57
3. 静止画変換 58

印刷 60

1. 記録した映像を印刷する 60

レポート表示 62

1. レポートを表示 / 印刷する 62

ログデータ変換 68

1. Google Earth 用のデータに変換する 68

設定画面の表示方法 70

1. 記録設定画面を表示する 70

記録設定 71

1. 記録設定 72
2. 衝撃感度設定 74
3. 電圧監視設定 74
4. 録画待機時間設定 75
5. システム 75
6. SD カードフォーマット 76
7. 録画データ削除 78
8. バックアップ 79
9. 初期設定に戻す 79

インフォメーション 80

1. バージョン情報を確認する 80
2. ホームページを表示する 81
3. その他 81

その他

別売品の SD カードを使用する前に・・・ 82

1. 本機用にフォーマットする …………… 82

SD カードの機種設定の確認 / 変更… 85

1. SD カードの機種設定を確認する …………… 85
2. SD カードの機種設定を変更する …………… 86

故障かな?と思ったら …………… 87

動作一覧 …………… 90

仕様 …………… 92

録画時間の目安 …………… 94

1. 録画時間 …………… 94
2. イベント記録件数 …………… 94

アフターサービス …………… 裏表紙

1. お客様ご相談センター …………… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険：「死亡または重傷を負うおそれ大きい」内容です。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ❗ 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.96「アフターサービス」

- ❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

- ❗ 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

- ❗ 本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 本機を次のような場所に保管しないでください。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

- ❌ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

- ❌ 本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

- ⚠️ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

⚠️ 注意

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

- ❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

- ❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



- ❌ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

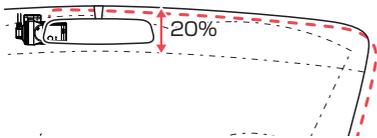
- ⚠️ 本機は精密機械です。
静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

⚠️ 警告

- ❗️ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

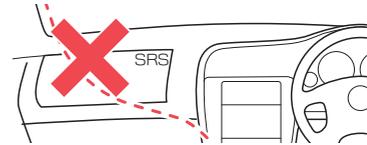
※ フロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



- ❗️ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ❗️ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



- ❗️ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 注意

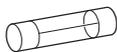
- ❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

- ❗ 接続部は確実に奥まで挿し込んでください。動作しない、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に挿し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナースアース車専用です。
- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 注意

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、POWER(緑)が3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。

OFF



- ⚠ SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中はカメラ等を注視しないでください。前方不注意による事故の原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❌ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。
- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

●本機のお手入れについて

⚠️ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などで拭くとキズの原因となります。
- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や洗剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



●内蔵電池について

⚠️ 危険

- ❗ 液漏れした電池には直接触らないでください。
けがや周囲を汚染する原因となります。万が一皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入った時はすぐにきれいな水で目を洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- ❌ 電池を分解したり改造しないでください。
電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- ❌ 電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。
絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

- ❌ 火のそばや炎天下の車室内など高温になる場所で放置しないでください。
電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ❌ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となるおそれがあります。

⚠️ 警告

- ❌ 濡れた手で電池を触らないでください。
感電の原因となることがあります。

- ⚠️ 電池はお子様の手の届く場所に保管しないでください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数(フレームレート)が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中にランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画データが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損するおそれがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

SD カードに関する注意

- ・ SD カードは必ず付属品が別売品を使用してください。市販品の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- ・ カードリーダーは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。別売品の SD カード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、カードリーダーが SDXC メモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないカードリーダーに接続すると、SDXC メモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- ・ SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SD カードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進み SD カードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
- ・ SD カードには寿命があります。SD カードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しい SD カードへの交換をお勧めします。
- ・ SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンへの保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ SD カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ 電源コードに関する注意

- ・電源コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPS を測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 使用前の注意

- ① P.32 を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
- ② 専用ソフトのメニューバー [ツール] → [記録設定] から各種の設定を確認し、[OK] をクリックしてください。



■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから 3 年間の保証がついています。(ただし、電源コード、SD カードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

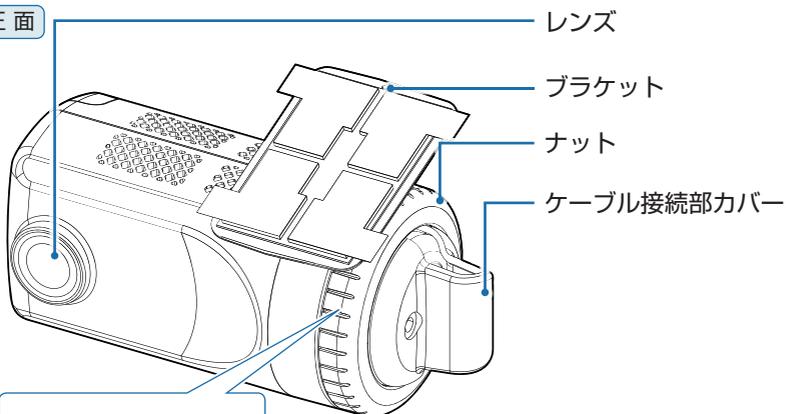
■ 内蔵電池に関する注意

- ・内蔵電池は消耗品です。時刻 /GPS 情報保持用の電池であり、一定期間使用すると時刻 /GPS 情報が保持できなくなります。頻繁に時刻 /GPS 情報がリセットされる場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

各部の名称と働き

■ 本体 (メインカメラユニット)

正面

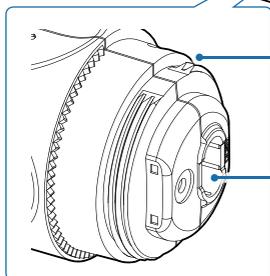


レンズ

ブラケット

ナット

ケーブル接続部カバー



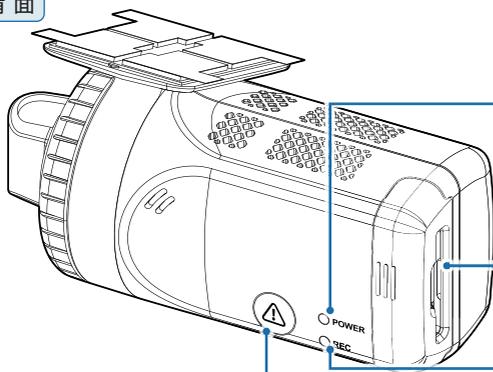
シリアルナンバー

製造番号が印刷されています。

DCジャック(5V)

付属の本体接続ケーブルを接続します。
(☛ P.23)

背面



POWER(緑)

電源状態をランプでお知らせします。
(☛ P.16、36)

SDカード挿入口

SDカードを挿入します。(☛ P.12)

REC(青)

録画状態をランプでお知らせします。
(☛ P.16)

記録ボタン

ワンタッチ記録します。(☛ P.15)

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ 車両情報取得ユニット …………… 1	■ トルクスネジ(T10 M3×6) …………… 2
■ 両面テープ (36mm×36mm) …… 1	■ ゴムキャップ …………… 2
■ 本体接続ケーブル (約 3m) …… 1	■ 専用 SD カード(16GB) …………… 1
■ 車両接続ケーブル (約 3m) …… 1	■ 保証書 …………… 1
■ SD カードカバー (SD カード抜き差し不可) …… 1	

- ・本機には、お買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。ただし、SD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- ・SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

※付属品・別売品の追加購入に関しましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

2. 別売品

■ 広角サブカメラ OP-CM204S : 16,500 円 メインカメラ同様の記録が可能です。 本体 (ブラケット / ナット装着済み) … 1 両面テープ (20mm×20mm) …………… 1 カメラケーブル (約 8 m) …………… 1	■ オプションカメラ中継ユニット OP-CRU1 : 12,100 円 カメラケーブルを延長できます。 本体 …………… 1 カメラケーブル (約 8 m) …………… 1
■ 周囲サブカメラ OP-CM363S : 22,000 円 1 台で前後左右 360° 全周囲撮影できます。 本体 …………… 1 両面テープ (20mm×20mm) …………… 2 カメラケーブル (約 8 m) …………… 1	■ 専用 SD カード OP-SD16(16GB) : 6,600 円 OP-SD32(32GB) : 11,000 円 OP-SD64(64GB) : 19,800 円 OP-SD128(128GB) : 39,600 円 ※ 付属、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。
■ IR サブカメラ OP-CM206IR : 25,300 円 IR (赤外線) 機能により暗闇の中でも映像撮影が可能です。 本体 (ブラケット / ナット装着済み) … 1 両面テープ (20mm×20mm) …………… 1 カメラケーブル (約 3 m) …………… 1	

SD カードの装着 / 取り外し

※付属のSDカードまたは別売品のSDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

⚠ 注意

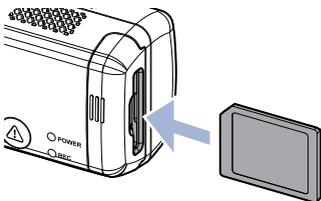
- ・電源OFF後、POWER(緑)が3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。

1. SD カードを本機に装着する

1-1 車両を停止 (ACC OFF) する

電源OFF後、POWER(緑)が3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを挿入する



- ・SDカードカバー (SDカード抜き差し不可) を装着している場合… SDカードカバーを取り外してからSDカードを装着してください。

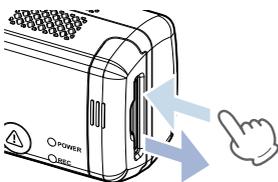
SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

2. SD カードを本機から取り外す

2-1 車両を停止 (ACC OFF) する

電源OFF後、POWER(緑)が3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを押し込み、カードが飛び出してから引き抜く

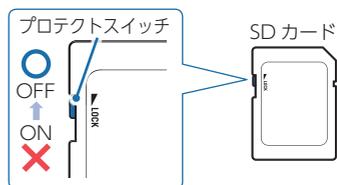


- ・SDカードカバー (SDカード抜き差し不可) を装着している場合… SDカードカバーを取り外してからSDカードを取り外してください。

※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

■ SD プロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチをOFFにしてください。



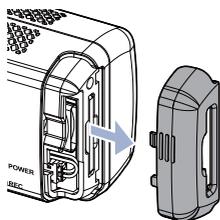
SD カードカバーの交換

付属のSDカードカバーは、お客様の必要に応じて取り付けてください。

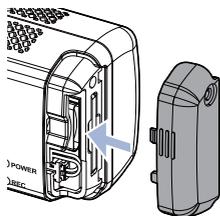
※SDカードカバーを取り付けなくても、本機は正常に動作します。

1. SD カードカバー (SD カード抜き差し不可) を本機に装着する

1-1 SDカードカバー (SDカード抜き差し可) を取り外す

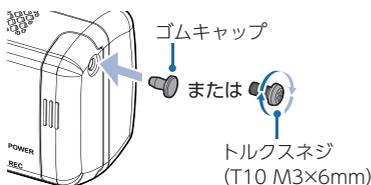


1-2 SDカードカバー (SDカード抜き差し不可) を取り付ける



※SDカードカバーの突起は折れやすいため、慎重に取り付けてください。

1-3 付属のゴムキャップまたはトルクスネジを取り付ける



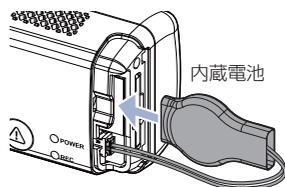
※トルクスネジはお客様の必要に応じて変更が可能です。

※ゴムキャップまたはトルクスネジを取り付けなくても本機は正常に動作します。

トルクスネジは市販品のトルクスドライバーで取り付けてください。

■ 内蔵電池について

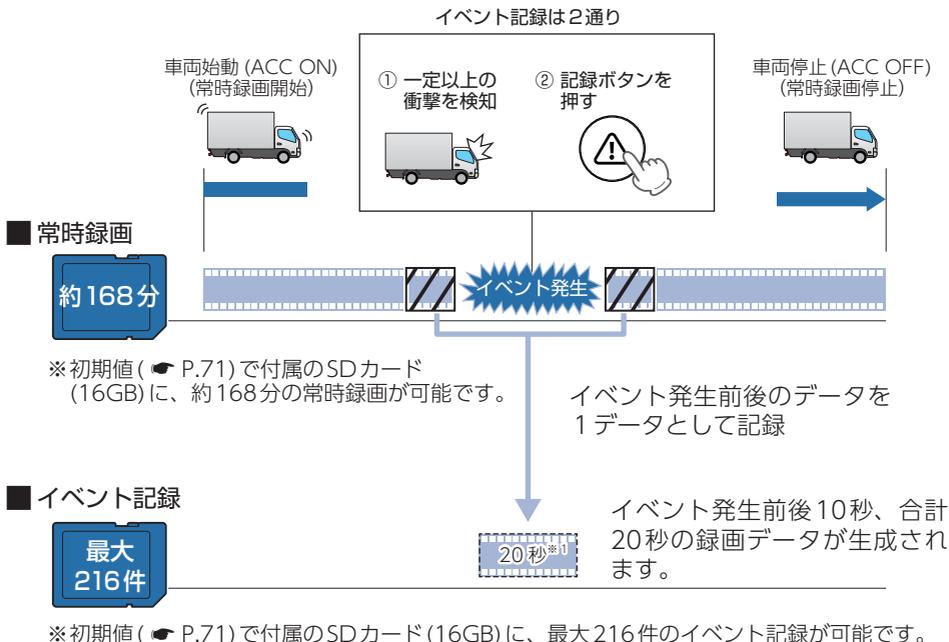
SDカードカバー脱着時に、内蔵電池が出てきた場合は元の位置へ戻してください。



録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時+イベント]があります。

※録画方法は、専用ソフトで変更することができます。(初期値：[常時+イベント])(☛ P.72)



※1：前後時間比率は、専用ソフトで変更することができます。(☛ P.73「イベント記録時間」)

1. 常時録画

車両始動 (ACC ON) から車両停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(☛ P.70)

・録画データ構成

車両始動 (ACC ON) から車両停止 (ACC OFF) までを1データで生成します。

※ 駐停車記録 (☛ P.73) に移行した場合は、移行時を起点に分割されます。

・録画可能時間

初期値 (☛ P.71) で、付属のSDカード (16GB) に約168分の常時録画が可能です。SDカードの容量などによって録画可能時間は異なります。(☛ P.94「録画時間」)

・上書きモード

初期値では [上書きモード] が [ON] のため、168分以降も上書きして録画します。(☛ P.16「上書きモード」)

2. イベント記録(G センサー記録 / ワンタッチ記録)

イベント記録には G センサー記録 / ワンタッチ記録があります。

イベント記録開始時に音が鳴り、REC(青)が点灯から早点滅に変化し記録が行われます。記録が終了すると REC(青)が早点滅から点灯に戻ります。

※前後時間比率は、専用ソフトで変更することができます。(● P.73「イベント記録時間」)

※記録時の音は専用ソフトで[OFF]にすることができます。(● P.73「音声記録」)

※G センサー記録、ワンタッチ記録それぞれの記録時間を個別に設定することはできません。

※録画コマ数を[1コマ/秒]以下に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]で固定になります。(● P.72)

・録画データ構成

初期値(● P.71)で1データあたり20秒(イベント発生前後10秒)で生成します。(● P.73「イベント記録時間」)

・最大記録件数

初期値(● P.71)で、付属のSDカード(16GB)に216件のイベント記録が可能です。SDカードの容量などによって最大記録件数は異なります。(● P.94「イベント記録件数」)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[ON]のため、記録件数が216件を超えると、古いイベント記録を上書きします。(● P.16「上書きモード」)

■ G センサー(加速度センサー)記録

内蔵の G センサーが一定以上の衝撃を検知した場合には「G センサー記録」として前後の映像をSDカードに記録します。

一定以上の衝撃を検知



■ ワンタッチ記録

本機の記録ボタンを押すことで、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」としてSDカードに記録します。

記録ボタンを押す



録画設定が[常時録画]または[常時録画+イベント]の場合、記録ボタンを押すことで、常時録画の映像に対してタイムラインにトリガが黄色でマークされます。(● P.47)

※トリガは常時録画の映像に対してマークされているため、常時録画の映像が上書きされた場合、トリガも上書きされます。

※録画設定を[常時録画]にした場合、ワンタッチ記録は行いませんが、常時録画データにトリガはマークされます。

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. マルチトリガー

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も連続して記録可能です。

※マルチトリガー検知後は、設定されている時間(例：8秒間)記録します。

例：イベント記録時間の設定が12秒/8秒の場合



4. 上書きモード

上限に達した場合の動作をON/OFFで設定します。(P.73)

★：初期値

上書き設定		上限に達した場合の動作
常時録画	ON(★)	常時録画の古いデータから上書きします。
	OFF	『常時録画の容量が不足しているため、録画を開始できません』とお知らせし常時録画を停止します。
イベント記録	ON(★)	イベント記録の古いデータから上書きします。
	OFF	『イベント記録の容量が不足しているため、イベント記録ができません』とお知らせしイベント記録を停止します。
履歴記録	ON(★)	履歴記録の古いデータから上書きします。
	OFF	『ピーピーピー』と4回鳴り、履歴記録を停止します。

メンテナンスについて

■ 必要に応じてのメンテナンス

・ 付属の車両接続ケーブルのヒューズ交換

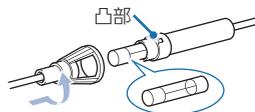
※ 交換用ヒューズ 2A(30mm × 6.4mm) × 2

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 電源コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

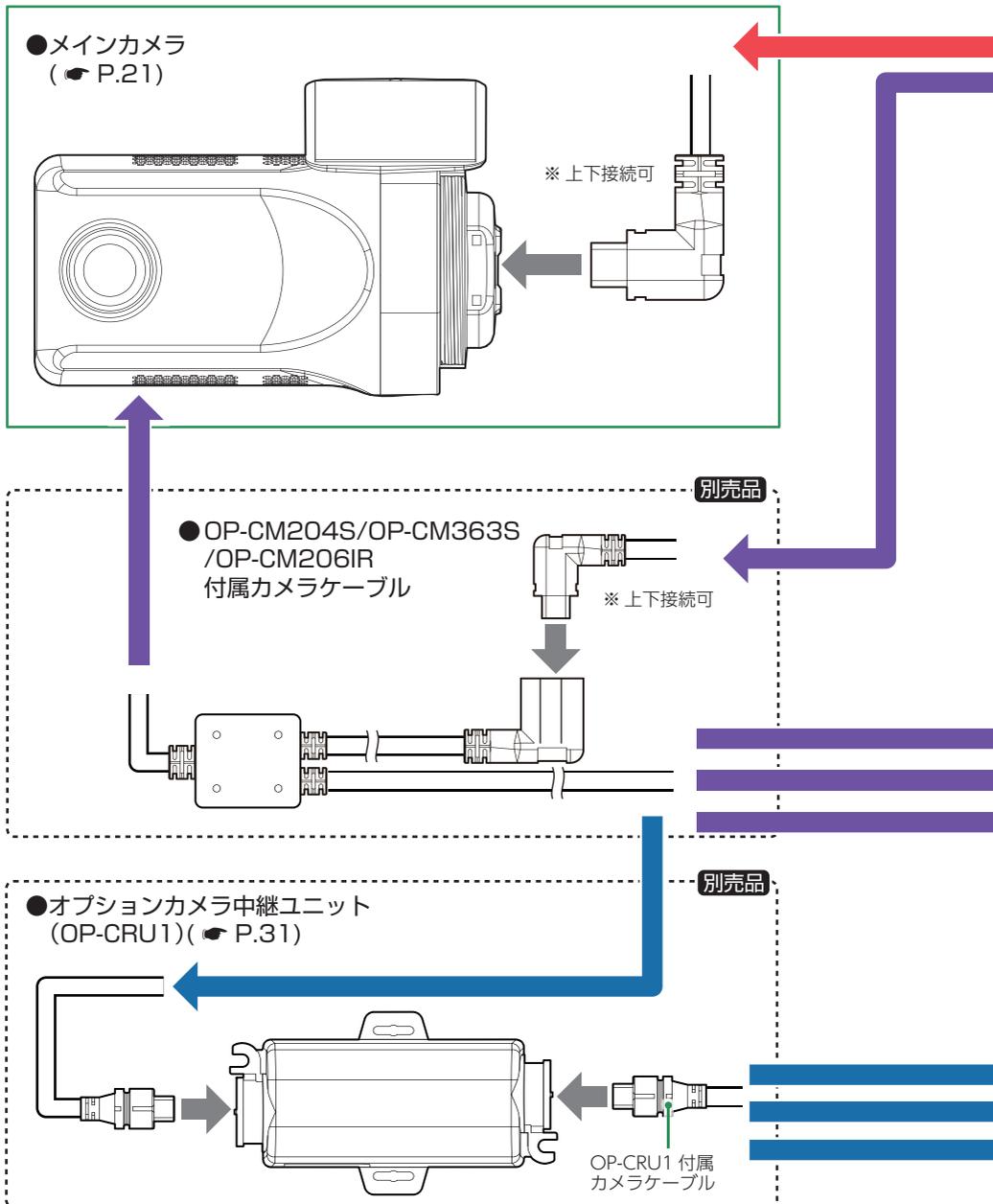
ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

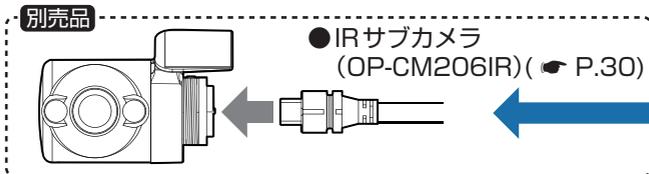
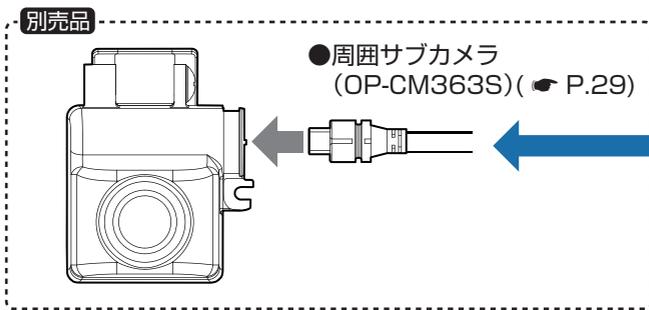
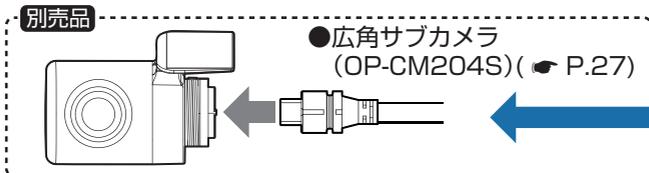
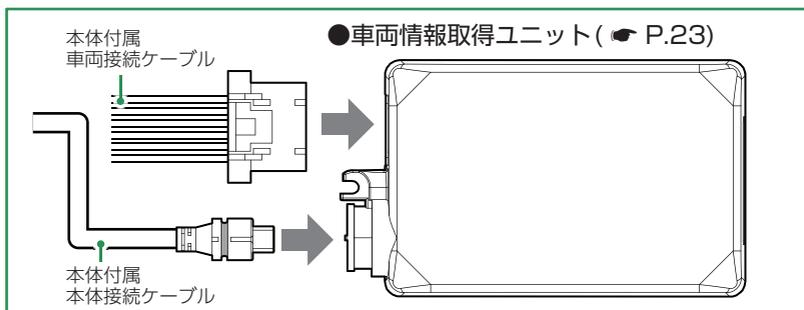
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



全体接続図

必要に応じた機器を接続してください。





本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■フロントガラスに取り付ける場合

- ・フロントガラスの上部 20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置が確認してから行ってください。

■リアガラスに取り付ける場合

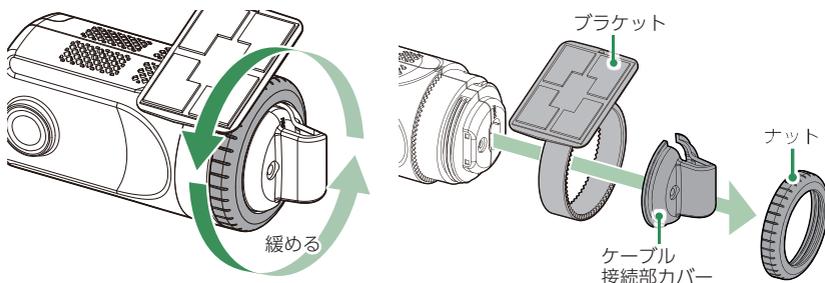
- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、カメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. 本機の取り付け

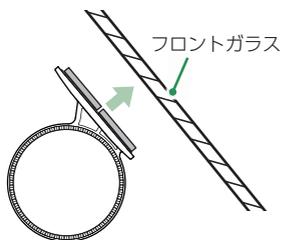
あらかじめガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

※本機を初めて取り付けるときや、本機取り付け角度を変更したときは、設置角度検出 (● P.33) を必ず行ってください。

1-1 ナットを外し、本体からケーブル接続部カバーとブラケットを取り外す



1-2 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

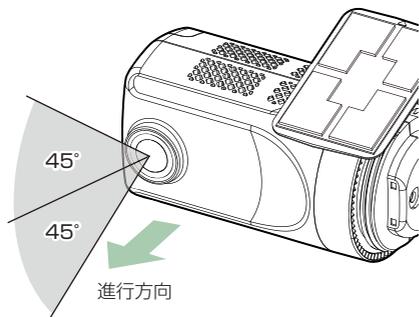


※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落するおそれがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかりと貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

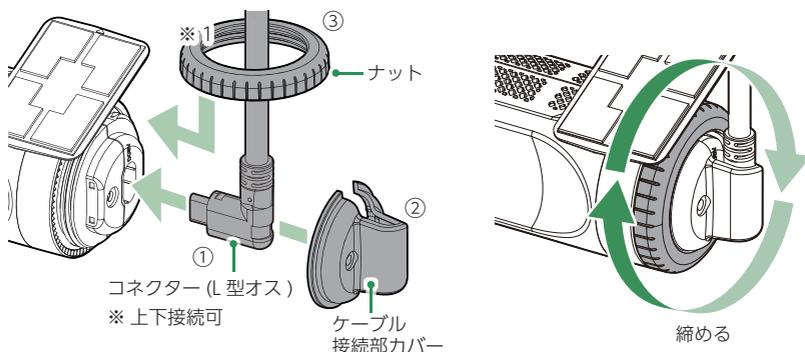
1-3 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向ける



※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

※上下45°の角度まで本体を傾けて取り付けることができます。

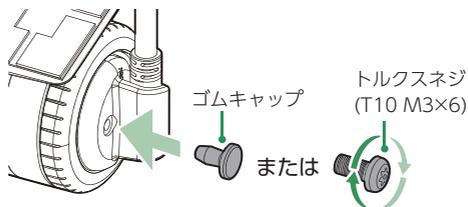
1-4 通信ケーブル、ケーブル接続部カバーを付けてからナットで締めて固定する



※コネクターは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

※1：ナットは先に電源コードに通しておいてください。

■ ケーブル接続部カバーの固定 (※必要に応じて)



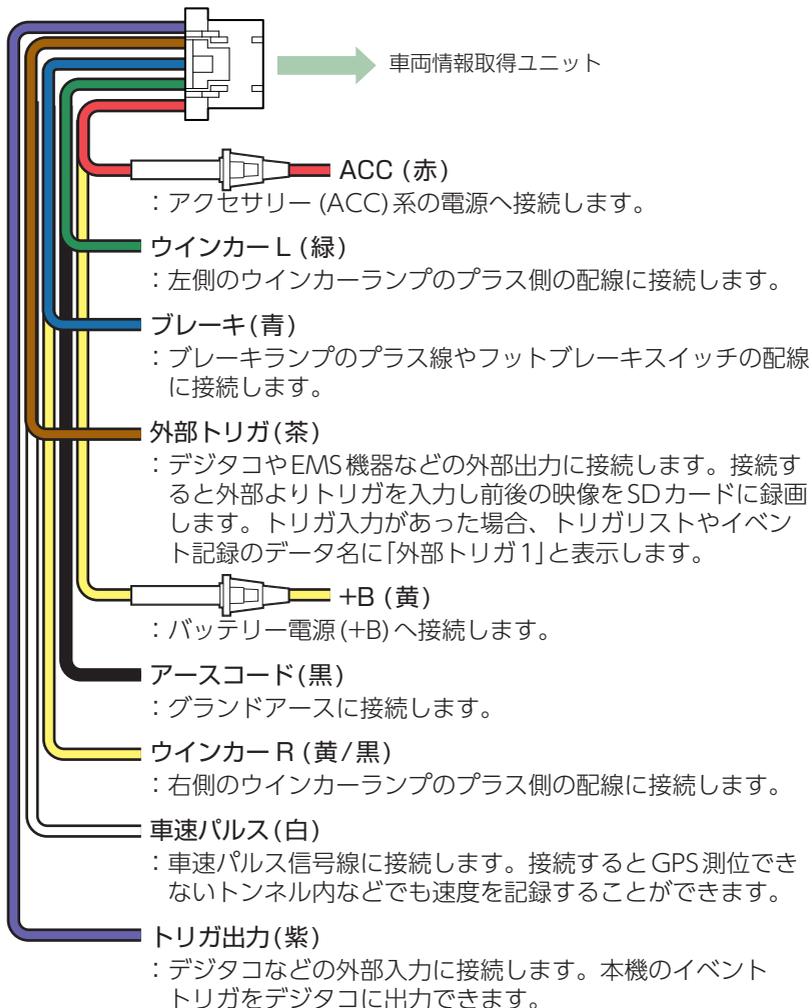
2. 電源を接続する

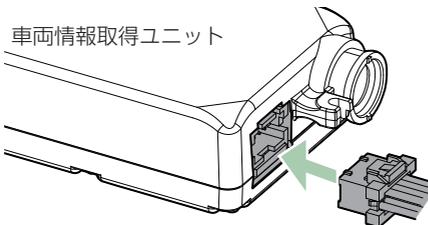
付属の車両情報取得ユニット、本体接続ケーブル、車両接続ケーブルを接続します

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すとメモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

2-1 車両接続ケーブルを接続する



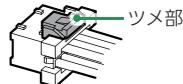


車両情報取得ユニット

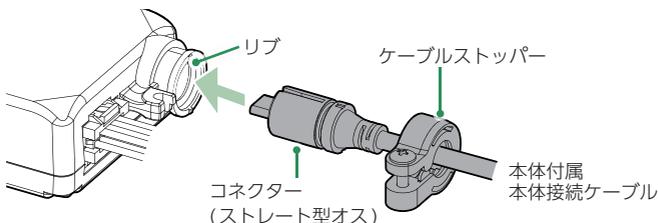
※『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

■ 取り外し方法

コネクターのツメ部を押しながら取り外す。



2-2 本体接続ケーブルを接続する (P.18)



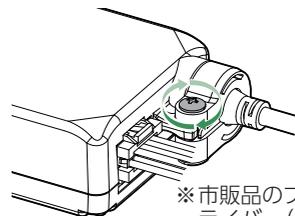
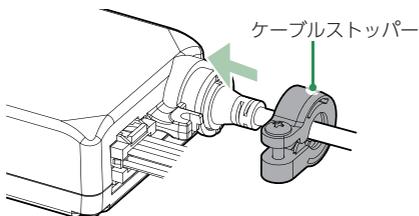
コネクターの溝と挿入口のリップを合わせて挿入してください。

※コネクタは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-3 ケーブルストッパーでコネクタを固定する

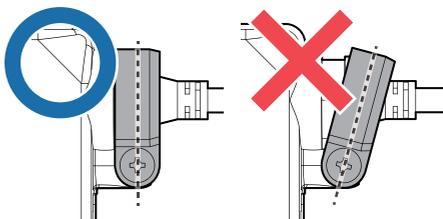
① ケーブルストッパーでコネクタを留める

② ケーブルストッパーのネジを締める



● 取付位置をご確認ください。

- ・ ケーブルストッパーが傾いていませんか。
- ・ ケーブルストッパーは奥まで差し込まれていますか。



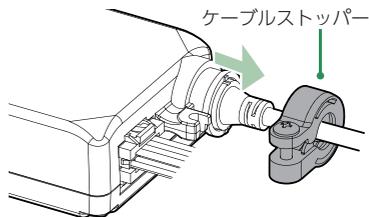
■ 取り外し方法

① ケーブルストッパーのネジを緩める

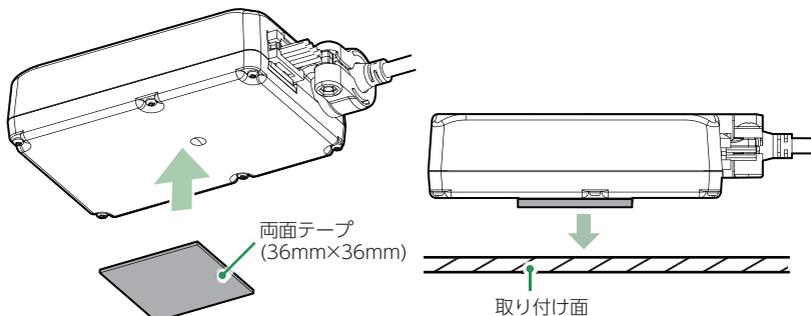


※市販品のプラスドライバー(1番)をご使用ください。

② ケーブルストッパーを外す



2-4 ユニットの下部に両面テープを貼り付け、任意の場所に取り付ける



2-5 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、ケーブル類を固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光のあたる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

別売品の取り付け

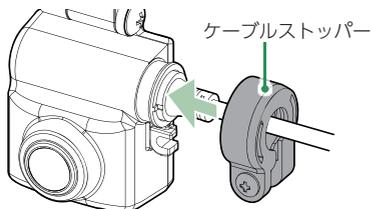
ケーブルストッパーの脱着方法

※例として周囲サブカメラ(OP-CM363S)で説明します。他の別売品でも同様の手順で脱着してください。

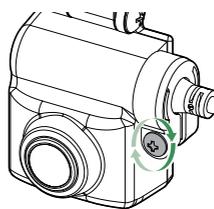
※ネジは完全に分離します。なくさないようご注意ください。

■ ケーブルストッパーを取り付ける

①ケーブルストッパーでコネクターを留める



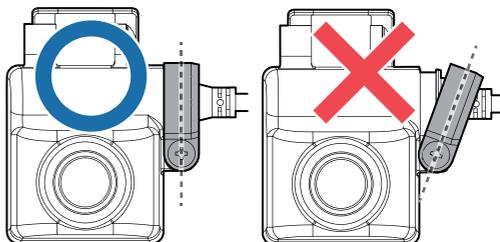
②ケーブルストッパーのネジを締める



※市販品のプラスドライバー(1番)をご使用ください。

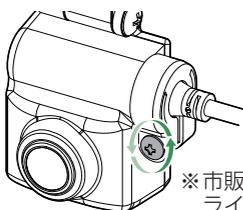
● 取付位置をご確認ください。

- ・ケーブルストッパーが傾いていませんか。
- ・ケーブルストッパーは奥まで差し込まれていますか。



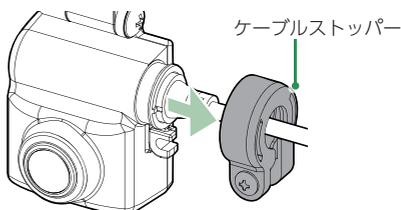
■ ケーブルストッパーを取り外す

①ケーブルストッパーのネジを緩める



※市販品のプラスドライバー(1番)をご使用ください。

②ケーブルストッパーを外す



1. 広角サブカメラ (OP-CM204S) の接続方法

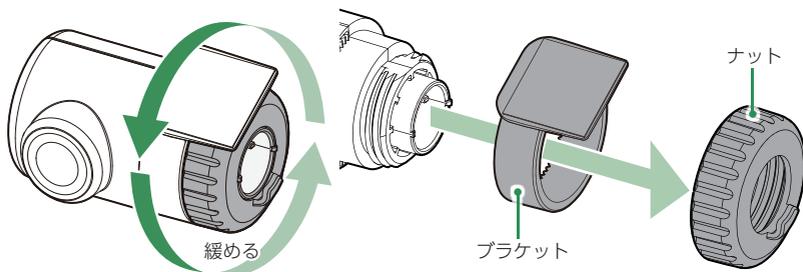
あらかじめ取り付け面の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。



注意

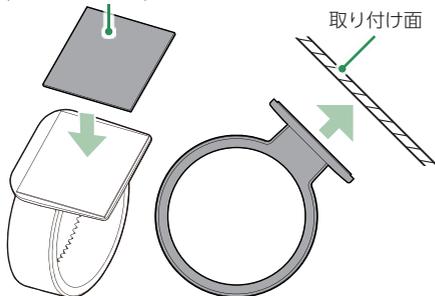
- ・設定変更を行わないと撮影できません。(● P.73「サブカメラ有効/無効」)
- ・「サブカメラ有効/無効」の設定を[無効]にした場合、サブカメラは取り外してください。

1-1 ナットとブラケットを取り外す



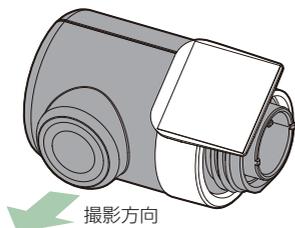
1-2 ブラケットに両面テープを貼り付け、任意の場所に取り付ける

両面テープ
(20mm×20mm)



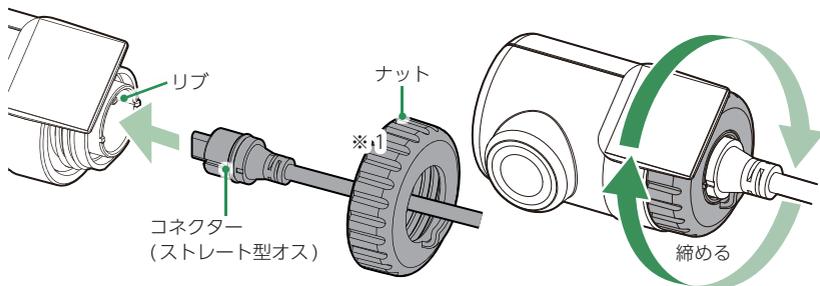
- ※両面テープは、サブカメラの付属品をご使用ください。
- ※固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
- ※貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ※リアガラスに取り付ける場合、両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

1-3 ブラケットに本体を装着し、レンズを撮影方向に向ける



- ※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

1-4 カメラケーブルを付けてからナットで締めて固定する



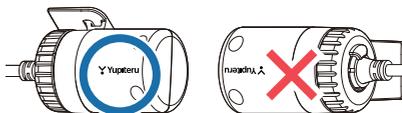
コネクタの溝と挿入口のリップを合わせて挿入してください。

※コネクタは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

※1：ナットは先にカメラケーブルに通しておいてください。

■ 取り付け方向について

「Yupiter」ロゴが逆向きでは映像が上下反転します。取り付け時には必ず本体の向きを確認してください。



1-5 カメラケーブルを接続する (P.18)

1-6 市販品の結束バンドや両面テープなどをを使い、ケーブル類を固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

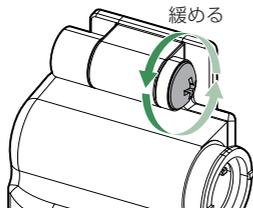
2. 周囲サブカメラ (OP-CM363S) の接続方法

あらかじめ取り付け面の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠ 注意

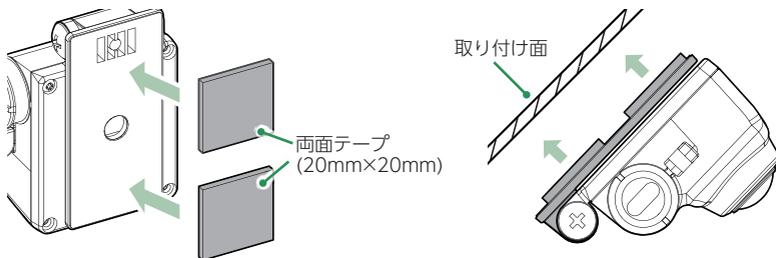
- ・設定変更を行わないと撮影できません。(☞ P.73「サブカメラ有効/無効」)
- ・「サブカメラ有効/無効」の設定を[無効]にした場合、サブカメラは取り外してください。

2-1 ブラケットのネジを緩める



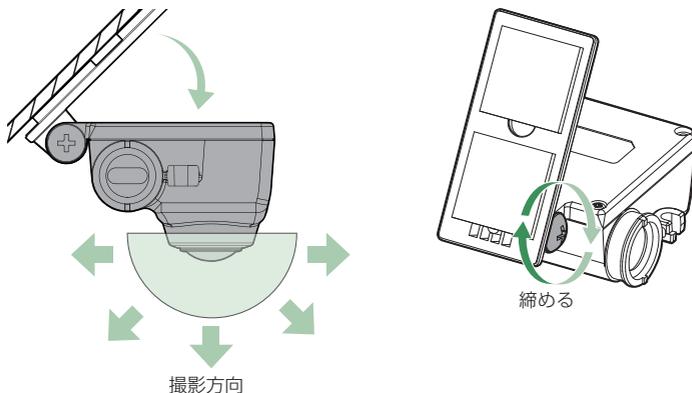
- ※市販品のプラスドライバー(2番)をご使用ください。
- ※ブラケットのネジは工場出荷時に緩めにしてあります。緩めなくても調整できる場合があります。

2-2 ブラケットに両面テープを貼り付け、任意の場所に取り付ける

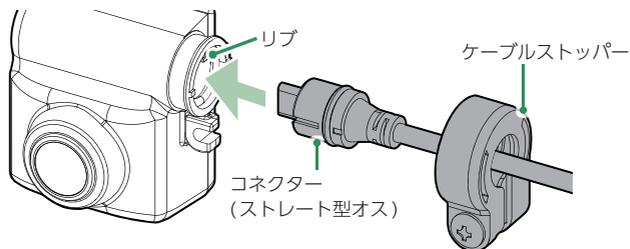


- ※リアガラスに取り付ける場合、両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

2-3 レンズを撮影方向に向け、ブラケットのネジを締めて固定する



2-4 カメラケーブルを接続する (P.18)



コネクタの溝と挿入口のリップを合わせて挿入してください。

※コネクタは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-5 ケーブルストッパーでコネクタを固定する (P.26)

2-6 市販品の結束バンドや両面テープなどをを使い、ケーブル類を固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

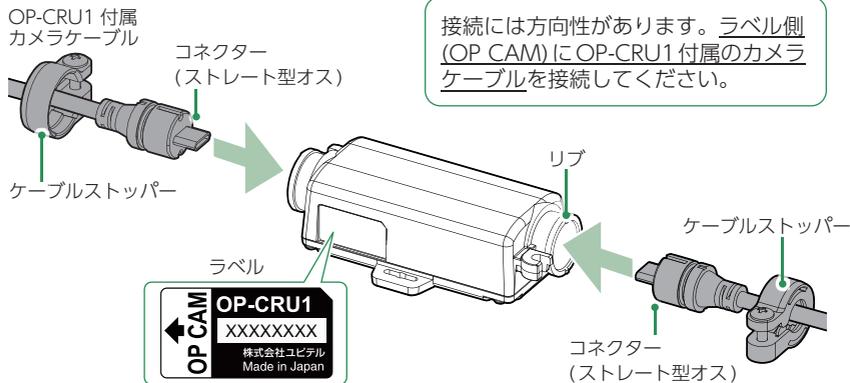
- ・ 運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光のあたる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

3. IR サブカメラ(OP-CM206IR)の接続方法

接続方法は広角サブカメラ(OP-CM204S)と同様になります。(P.27)

4. オプションカメラ中継ユニット(OP-CRU1)の接続方法

4-1 各ケーブルを接続する (☞ P.18)



コネクタの溝と挿入口のリブを合わせて挿入してください。

※コネクタは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-2 ケーブルストッパーでコネクタを固定する (☞ P.26)

4-3 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、ケーブル類を固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光のあたる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

準備する

映像を記録するための準備を行います。



1. 専用ソフトをインストール

本機で記録した映像は、専用ソフトを使用してパソコンから見るすることができます。弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※誤って専用ソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

■ インストール方法

下記の弊社ホームページをご確認ください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

■ 必要なパソコンのスペック

(2023年1月現在)

	再生する場合	画像処理機能を動作させる場合 ^{※1}
OS	Microsoft Windows 11、10	
CPU	Core2Duo 相当	Core i5 相当 3.0GHz以上
RAM	2GB以上	8GB以上

※1：DirectX9.0c以降のバージョンになります。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※WindowsのアップデートやGoogle マップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生するファイルの種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなる場合があります。

※専用ソフトの画面サイズは1024 × 768 ピクセル固定です。

※コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。

※本機の記録解像度は、最大200万画素ですが、専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

2. 設置角度検出をする

⚠ 注意

パソコンやカードリーダーからSDカードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーに付属の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SDカードを破損させてしまう恐れがあります。

2-1 デスクトップの[PC Brower]アイコンをダブルクリックする

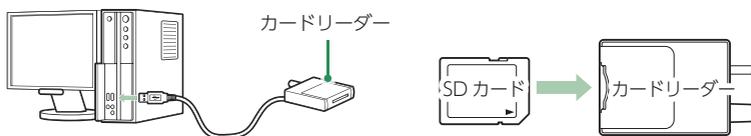


■ 専用ソフトが起動しない場合

「DirectXの初期化に失敗しました」、「d3d9.dllがありません」、「xxx.dllが見つからなかった・・・」といったエラーに対処するには 「DirectX Runtime」 のアップデートが必要になります。

「DirectX エンドユーザーランタイム」 で検索し、ダウンロードおよびインストールを行ってください。

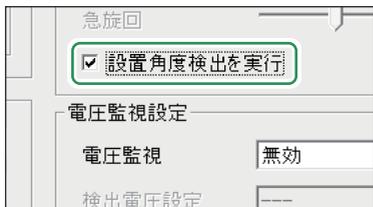
2-2 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

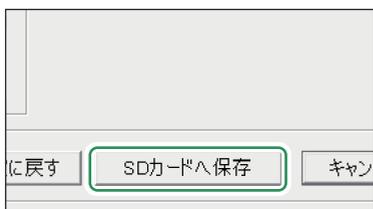
2-6 [設置角度検出を実行]に✓を入れる



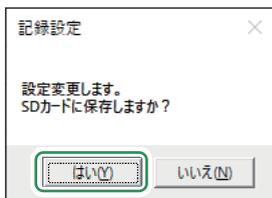
2-7 サブカメラの設定を行う(※必要に応じて)

※別売品のサブカメラ(☛ P.11)を接続した場合は、必ずサブカメラの設定を行ってください。

2-8 [SDカードへ保存]をクリックする



2-9 [はい]をクリックする



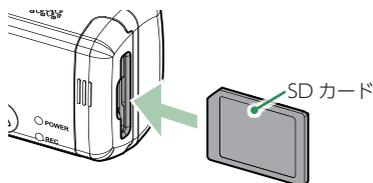
※[設置角度検出を実行]の✓は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、✓を入れる必要はありません。

2-10 パソコンからSDカードを取り外す

3. 本機の準備

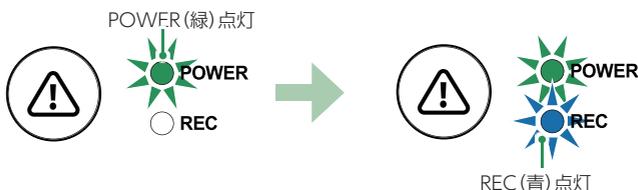
設置角度検出をするため、車両を平らな場所へ移動させてから実施してください。

3-1 設定済みのSDカードを挿入する



- ・SDカードを挿入するときは…電源OFF後、POWER(緑)が3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
☛ P.12「SDカードを本機に装着する」

3-2 車両を始動 (ACC ON) する



POWER(緑)が点灯、設置角度検出が正常に起動するとREC(青)が点灯し、録画が開始します。

※録画方法の設定が[イベント記録]の場合、POWER(緑)のみが点灯します。
(☛ P.90)

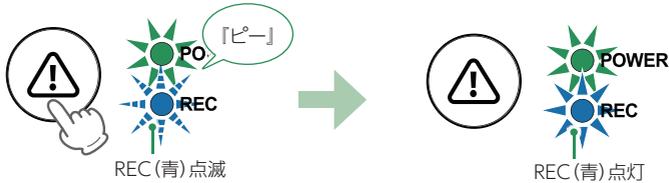
※車両始動(ACC ON)後、REC(青)が点灯するまで車両を動かさないでください。

- ・購入後、初めてご使用される場合、障害物や遮へい物のない見通しのいい場所で10分～20分程度停車状態にし、GPSの電波を受信(測位)させてください。
- ・エラーの症状と対処法は ☛ P.90を参照ください。

4. ワンタッチ記録の動作確認

本機の準備が終了したら、ワンタッチ記録 (P.15) の動作確認を行います。

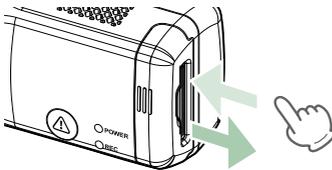
4-1 記録ボタンを押す



REC (青) が点滅し、『ピー』と音が鳴り、ワンタッチ記録を開始します。終了すると、REC (青) が点灯します。

4-2 車両を停止 (ACC OFF) する

4-3 本機からSDカードを取り外す

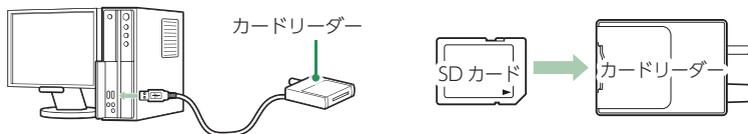


- SD カードを取り外すときは…
電源 OFF 後、POWER (緑) が 3 秒以上消灯したことを確認して、SD カードを挿入してください。
 P.12 [SD カードを本機から取り外す]

5. 記録映像の確認

専用ソフトがインストールされているパソコンで記録した映像の確認を行います。

5-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

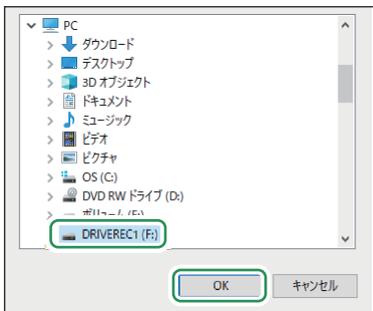
5-2 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



5-3 [フォルダ] (フォルダ) をクリックする



5-4 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※ [ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。

5-5

データ名の一覧より、見たい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できません。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

5-6

▶ ボタンをクリックする



※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

再生します。

■ 記録映像を確認したら…

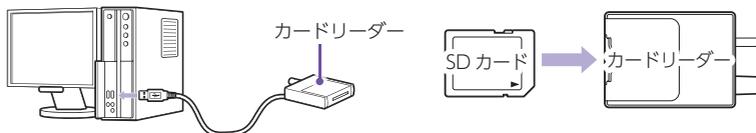
記録映像に問題がない場合は、[記録設定] (P.70) を任意で変更し、SDカードを本機に戻してご使用ください。

問題がある場合は、取り付けや設定をご確認ください。

専用ソフトの使いかた

1. 録画データの準備

- 1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。
※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

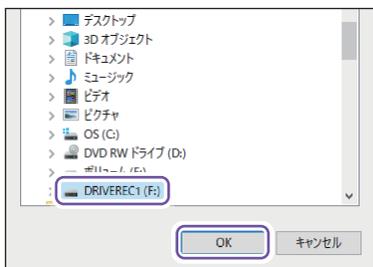
- 1-2 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-3 (フォルダ)をクリックする



- 1-4 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



常時録画の録画データ名を一覧で表示します。



No.	表示名	説明
①	イベント記録	イベント記録の録画データ名を一覧で表示します。
②	常時録画	常時録画の録画データ名を一覧で表示します。
③	履歴記録	履歴記録のデータ名を一覧で表示します。

1-5

データ名の一覧より、見たい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする

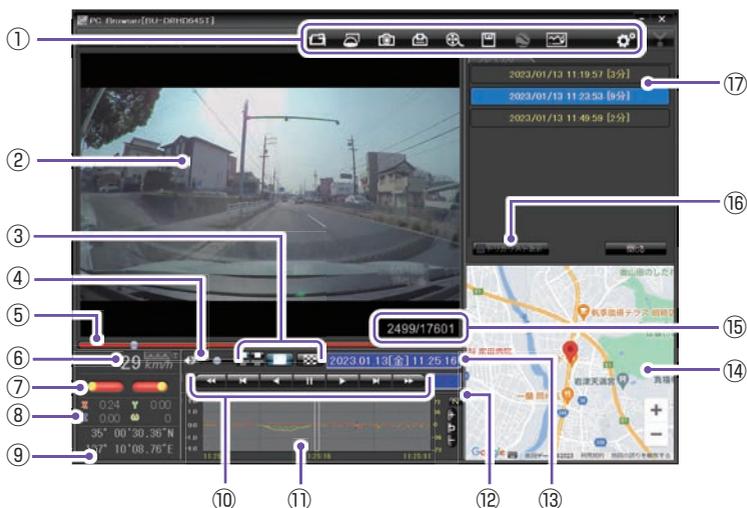


- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
- ※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。



録画データを表示します。

2. 画面説明



No.	表示名	説明
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		表示方法を変更します。(☞ P.44)
		静止画に変換します。(☞ P.58)
		印刷をします。(☞ P.60)
		動画変換します。(☞ P.57)
		データのバックアップをします。(☞ P.79)
		ログデータに変換します。(☞ P.68)
		レポートを表示します。(☞ P.62)
		記録設定の変更をします。(☞ P.72)
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。 (☞ P.48「表示エリアの操作」)
③	表示切替ボタン	1画面表示、16分割表示の切替、サブカメラ操作(サブカメラ接続設定時)ができます。(☞ P.43)
④	音量	音量の調節をします。
⑤	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。(☞ P.45)
⑥	走行表示速度	走行速度を表示します。(☞ P.46)

No.	表示名	説明
⑦	ウインカー/ブレーキ情報 ^{※1}	ウインカーやブレーキの情報を表示します。(● P.46)
⑧	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向:赤色)、左右(Y方向:黄緑色)、上下(Z方向:青色)、回転(ω 方向:黄色)で表示します。
⑨	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑩	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。(● P.46)
⑪	加速度センサー グラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。(● P.47)
⑫	NIGHT(ナイト) モードボタン	映像を明るく表示します。  : ON、  : OFF
⑬	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑭	地図表示	読み込まれた映像はGoogle マップに連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、地図(Google マップ)は表示されません。
⑮	録画コマ数	記録されているコマ数です。
⑯	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント位置(衝撃検知位置/ワンタッチ記録位置など)を表示します。(● P.47)
⑰	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

※1: 付属の車両接続ケーブル(ウインカー/ブレーキ)の接続が必要になります。

■ 表示切替ボタン①



No.	表示名	説明
①	 カメラ1表示	サブカメラの録画データがある場合、  をクリックする度に [カメラ1表示] と [カメラ2表示] を切り替えます。 ※ [複数カメラ表示] の場合、  ボタンをクリックすると、サブカメラの再生場所を移動できます。
②	 1画面表示	クリックする度に [1画面表示] と [複数カメラ表示] を切り替えます。 ※ サブカメラで録画を行っていない場合、[複数カメラ表示] は選択できません。
③	 16分割表示	クリックすると [16分割表示] を表示します。



< 1画面表示 >



< 16分割表示 >



< 複数カメラ表示 >

■ 表示切替ボタン②

 ボタンをクリックすると周囲カメラ表示方法選択画面が表示され、表示方法を選択することができます。

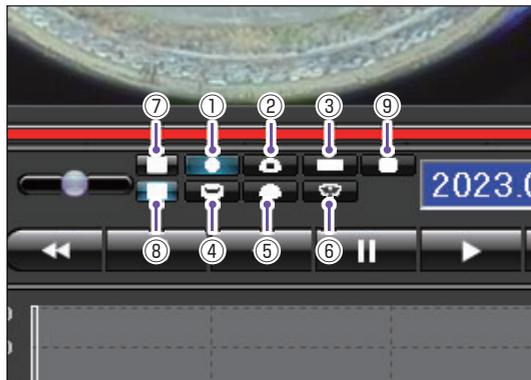
また、表示切替ボタン  が切り替わりボタンをクリックすることでも表示方法を変更できます。

※周囲カメラの表示変更は、周囲サブカメラ(OP-CM363S)で撮影されたデータにのみ対応しており、広角サブカメラ(OP-CM204S)/IRサブカメラ(OP-CM206IR)で撮影されたデータについては意図した通りの周囲カメラ表示はできません。

※メニューバーから変更する場合は、[表示]→[周囲カメラ]から選択してください。



<周囲カメラ表示方法選択画面>



<表示切替ボタン>

No.	表示名	説明
①	魚眼表示	録画した画像そのまま(魚眼状態)で表示します。
②	拡大フラット表示	一部を拡大して平面状に表示します。
③	パノラマ表示	水平360度方向を横長に一枚の画像で表示します。
④	リング表示	パノラマ画像をリング状態で表示します。
⑤	ドーム表示	ドーム状の画像で表示します。
⑥	180° VRパノラマ表示	魚眼表示を半球状の画像で表示します。
⑦	カメラ1表示 (メインカメラ)	メインカメラを表示エリアに表示します。
⑧	カメラ2表示 (サブカメラ)	サブカメラを表示エリアに表示します。
⑨	複数カメラ別面表示 /1画面表示	<p>クリックするたびに、1画面表示と複数カメラ別画面表示を切り替えます。</p> <p>※ [表示]⇒[画面表示]から[1画面表示/複数カメラ別画面表示]をクリックしても同様の動作となります。</p> <p>※ サブカメラで録画を行っていない場合は、[複数カメラ別画面表示]は選択できません。</p>



 <魚眼表示>



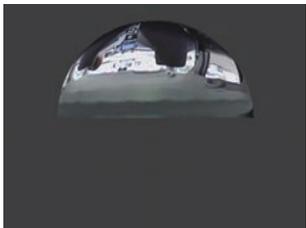
 <拡大フラット表示>



 <パノラマ表示>



 <リング表示>



 <ドーム型表示>



 <180° VRパノラマ表示>

■ 音量

つまみを左右にスライドさせ音量の調節をします。



小 ← → 大

 つまみ

クリックすると、ミュート()します。

■ タイムライン

つまみをスライドさせ再生ボタンをクリックすると、その場所から再生します。

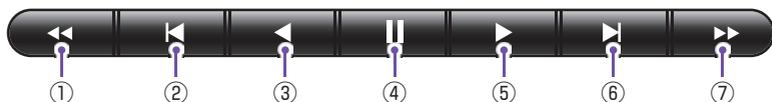
 つまみ

常時録画中に、イベント(衝撃検知や記録ボタン操作)での記録があった場所を黄色で示しています。



専用ソフト

再生ボタン



No.	表示名	説明
①	早戻し	1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で早戻しします。
②	前コマ	クリックする度に前のコマに戻ります。
③	逆再生	1回クリックすると1倍速（通常速度）、2回クリックすると0.5倍速（スロー）で逆再生します。
④	停止	1回クリックすると再生を停止します。
⑤	再生	1回クリックすると1倍速（通常速度）、2回クリックすると0.5倍速（スロー）で再生します。
⑥	次コマ	クリックする度に次のコマに移ります。
⑦	早送り	1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で早送りします。

速度 / ウィンカー / ブレーキ情報

速度、ウィンカー、ブレーキ情報を確認できます

※ 付属の車両接続ケーブル(ウィンカー / ブレーキ)の接続が必要になります。



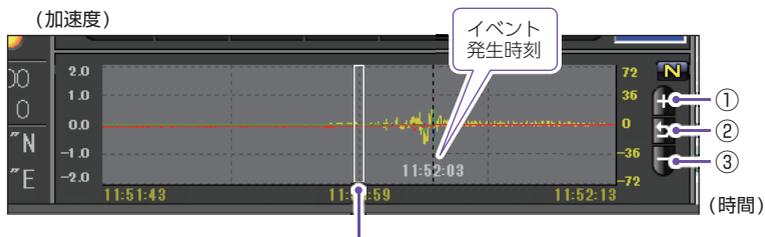
No.	表示名	説明
①	速度 ^{*1} ※ ²	GPSまたは車速信号線からの情報で走行速度を表示します。 ※ 車速信号線から速度情報を検出する場合、付属の車両接続ケーブル(車速パルス)の接続が必要になります。
②	ウィンカー表示部	ウィンカーを出したことがウィンカー表示部の点滅で確認できます。
③	ブレーキ表示部	ブレーキを踏んだことがブレーキ表示部の点灯で確認できます。

※ 1：[ツール]⇒[速度表示選択]から[GPS速度/車速パルス]を選択できます。

また、[車速パルス]を選択した場合、速度表示の右上に  が表示されます。

※ 2：動画変換で書き出される速度表示は、[速度表示選択]で選択した情報が反映されます。

■ 加速度センサー表示

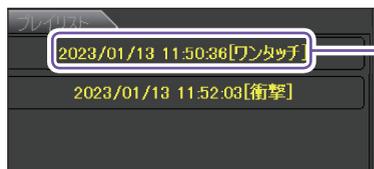


エリア内をクリックするとカーソルが移動します。再生ボタンを押し、カーソルの位置から再生することができます。

No.	表示名	説明
①	グラフ拡大	加速度センサーのグラフが拡大します。
②	グラフ標準	加速度センサーのグラフが標準に戻ります。
③	グラフ縮小	加速度センサーのグラフが縮小します。

■ トリガリスト表示ボタン

トリガリスト表示 ボタンをクリックすると、トリガのプレイリストに切り替わります。



クリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

・トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急発進」「急ブレーキ」「急ハンドル」、記録ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

※ ワンタッチ以外のトリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

※ 衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃, など」と記録されます。

3. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ 画像表示エリアのメニュー

マウスを右クリックすると「画面表示エリアのメニュー」が表示します。



①画像状態

画像の回転角度を表示します。

②標準に戻す

拡大した画像や反転・回転した画像を初期表示に戻します。

③画面操作

画像の範囲拡大、移動、回転の操作ができます。

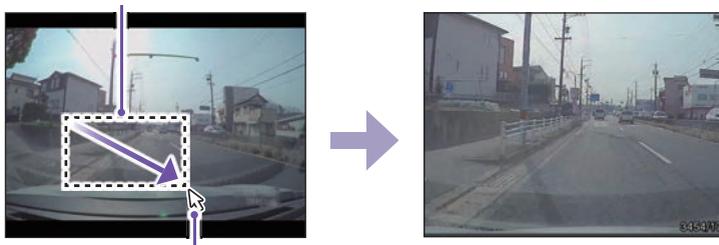
※ 元に戻す場合は、右クリックで「画像表示エリアのメニュー」を表示させ、[標準に戻す]を選択します。

・範囲拡大

範囲拡大に✓を入れ、範囲を指定することで、拡大表示します。

マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグします。

点線部分が範囲選択部分です。



マウスポインター

・移動

移動に✓を入れ、拡大表示した画像の表示位置を移動します。
マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。

※ 拡大表示していない場合、[移動]はできません。



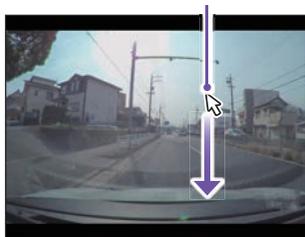
マウスポインター



・回転

回転に✓を入れ、画像を回転します。
マウスの左ボタンでドラッグし、回転します。

マウスポインター



④反転

[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。

[上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。



<左右反転>



<上下反転>

⑤ 拡大・縮小

[拡大]をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。

[縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。



<拡大>



<縮小>

⑥ 回転(角度指定)

[時計回り]をクリックし、角度を入力すると画像が時計回りに回転します。

[反時計回り]をクリックし、角度を入力すると画像が反時計回りに回転します。

画像回転 ×

現在の角度からの回転角度を入力してください。

度 (1~359)

⑦ 周囲カメラ表示調整

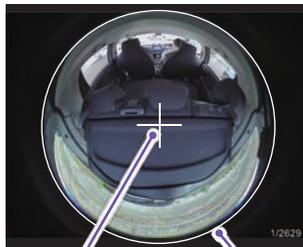
[標準に戻す]をクリックすると周囲カメラで表示する範囲の中心・大きさを初期値に戻します。

[移動]をクリックし、マウス左ボタンをドラッグして周囲カメラで表示する範囲の円の中心(+)を変更します。

※ 円の範囲は変わりません。

[大きさ]をクリックし、マウスの左ボタンをドラッグして周囲カメラで表示する円の範囲を変更します。

※ 円の中心は変わりません。



中心線

範囲

⑧ NIGHT モード

映像を明るく表示します。

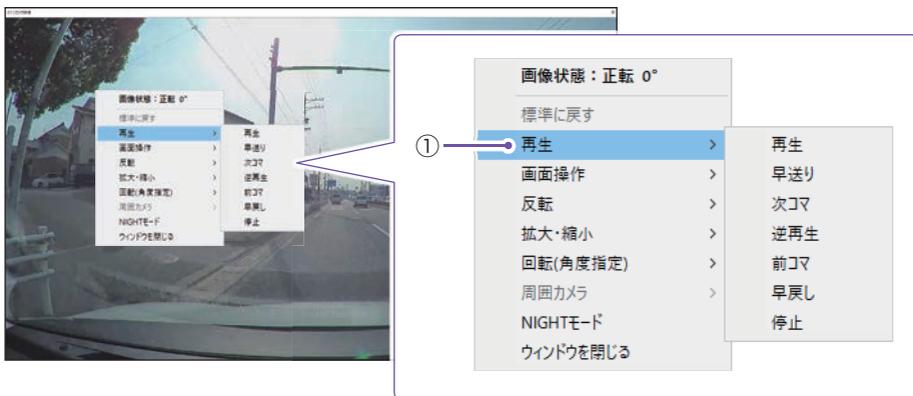
⑨別ウィンドウで表示

表示エリアの映像をブラウザとは別ウィンドウで表示します。



別ウィンドウのメニュー

別ウィンドウ内でマウスを右クリックすると「別ウィンドウのメニュー」が表示します。



①再生

映像の再生・停止などを操作することができます。

再生する

1. 録画データを再生する

例：イベント記録を再生する場合

1-1 イベント記録をクリックする



- 録画データの種類については…
● P.40「録画データの準備」

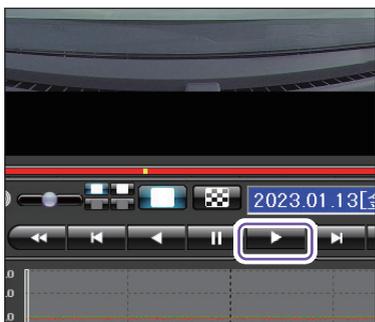
1-2 データ名一覧より、見たい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
- ※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ※イベント記録を表示中の場合は[トリガ]をクリックすると、トリガの種類を選択して表示することができます。

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

1-3 ▶ をクリックする



録画データを再生します。

- イベント記録の再生画面の詳細は ● P.53
- 常時録画の再生画面の詳細は ● P.53
- 履歴記録の再生画面の詳細は ● P.54

イベント記録の再生画面



■ イベント記録のデータ名について

ワンタッチ記録や衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

2023 / 01 / 13 12 : 34 : 56 **衝撃**

年 月 日 時 分 秒 トリガ(衝撃、急発進、急ブレーキ、急ハンドル、ワンタッチ)

※ ワンタッチ以外のトリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

※ 衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃、など」と記録されます。

常時録画の再生画面



■ 常時録画のデータ名について

日時、時間、期間がデータ名となります。

2023 / 01 / 13 12 : 34 : 56 **20分**

年 月 日 時 分 秒 期間(映像の記録時間)

履歴記録の再生画面

履歴記録では、走行ルートや映像を記録したポイントを確認できます。

本機が電源ONのとき、GPS測位によって約1秒ごとに自車位置を記憶し、設定した時間分の履歴(ログデータ)をSDカードに保存します。(● P.73「履歴記録時間」)

※GPS測位できない場合は、自車位置を記録できません。

※履歴(ログデータ)を作らないようにすることはできません。



No.	表示名		説明
①	検索		速度や加速度の値を設定し、検索することができます。(● P.55)
②	データ情報	記録開始時刻	読み込まれたデータの記録を表示します。(● P.55)
		本体時刻	
		GPS時刻	
		緯度	
		経度	
		速度	

検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃（加速度）の映像を検索でき、データとして表示します。

No.	日付	時刻
1	2023/01/13	11:20:44
2	2023/01/13	11:20:48
3	2023/01/13	11:20:52

- ✓を入れ、任意の数字を入力してください。
- 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No.	表示名	説明
①	速度検索値	検索する走行速度を設定します。
②	加速度しきい値X±	検索したい前後方向の値を設定します。
③	加速度しきい値Y±	検索したい左右方向の値を設定します。
④	加速度しきい値Z±	検索したい上下方向の値を設定します。
⑤	角速度しきい値ω±	検索したい回転方向の値を設定します。

データ情報

読み込まれたデータの記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度[進行方向]を表示します。

```
記録開始時刻 : 2023.01.13 11:19:56
本体時刻      : 2023.01.13 11:24:11
GPS時刻       : 2023.01.13 11:23:49
緯度          : 35° 00'34.41"N
経度          : 137° 10'07.05"E
速度          : 11 km/h[南]
```

保存する

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどに保存してください。

1. バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※バックアップしても記録した映像は削除されません。

例：イベント記録をバックアップする場合

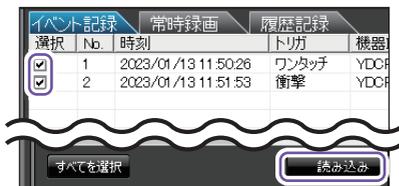
1-1 イベント記録をクリックする



・録画データの種類については…

☛ P.40「録画データの準備」

1-2 データ名一覧より、保存したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※一度に読み込むデータの量を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 [バックアップ]をクリックする



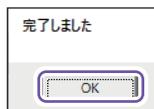
1-4 保存先を指定し、[スタート]をクリックする



※[全てバックアップ]に✓を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

※PC Browserタイプで保存した場合、フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

1-5 [OK]をクリックする



保存が完了します。

2. 動画変換

イベント記録と常時録画の映像をAVI形式の動画に変換して保存できます。

例：イベント記録を動画変換する場合

2-1 イベント記録をクリックする



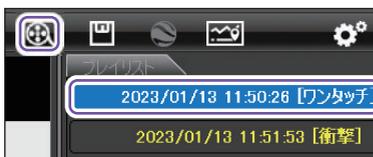
- 録画データの種類については…
● P.40「録画データの準備」

2-2 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
- ※一度に読み込むデータの量を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。
- ※サブカメラが同時に記録されている場合、動画がメインカメラ、サブカメラで作成されます。

2-3 録画データを選択し、 (動画変換)をクリックする

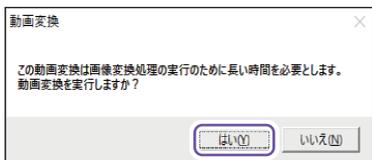


2-4 変換区間、圧縮形式、字幕、保存先やファイル名を指定し、[スタート]をクリックする

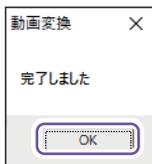


- 変換区間について
全て返還するの✓を外すと変換区間を指定できます。
- 字幕について
[日時設定]などに✓を入れると、選択した情報を動画上に表示します。
※画像圧縮形式を[H.264]にした場合、字幕は保存されません。

2-5 [はい]をクリックする



2-6 [OK]をクリックする



動画変換が完了します。

動画変換して保存したファイルはWindowsの標準ソフトで再生できます。

3. 静止画変換

イベント記録と常時録画の映像をJPEG形式の静止画に変換して保存できます。

例：イベント記録を静止画変換する場合

3-1 イベント記録をクリックする



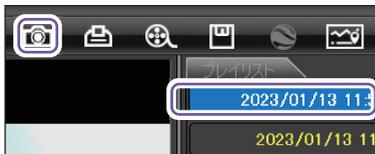
・録画データの種類については…
☛ P.40「録画データの準備」

3-2 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
※一度に読み込むデータの量を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

3-3 録画データを選択し、 (静止画変換)をクリックする

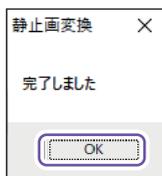


3-4 [表示中の静止画すべてまたは[コマ数指定]を選択し、お好みの保存先を指定し、[スタート]をクリックする



- **表示中の静止画像すべて**
表示エリアの映像を印刷します。16分割表示の場合は、表示中の映像すべてを印刷します。
- **コマ数指定 (選択した静止画から)**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。
秒間…範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。
コマ/秒…1秒間を何コマで分割するかを設定します。
※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(▶ P.72)が反映されます。
※ 静止画像枚数は秒×コマ数になります。

3-5 [OK]をクリックする



静止画変換が完了します。

静止画変換しJPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

印刷

1. 記録した映像を印刷する

イベント記録と常時録画の映像を印刷することができます。

例：イベント記録の映像を印刷する場合

1-1 イベント記録をクリックする



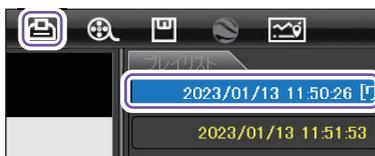
・録画データの種類については…
☛ P.40「録画データの準備」

1-2 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に✓を入れ[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
※複数のデータを選択した場合は、プレリスト最上段の映像が表示されます。
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 録画データを選択し、 (印刷)をクリックする



※表示エリアの操作(☛ P.48)で映像を回転させると、回転した状態の映像を印刷できます。

1-4 [表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択し、[確認]をクリックする



- 表示中の静止画すべて

表示エリアの映像を印刷します。16 分割表示の場合は、表示中の映像すべてを印刷します。

- コマ数指定

表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

秒間…範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。

コマ/秒…1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (● P.72) が反映されます。

※ 印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-5 [印刷] をクリックする



- プリンタ設定

印刷するプリンタの設定を行います。

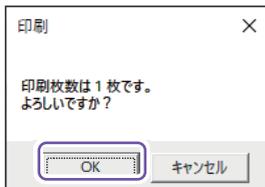
- 1 コマ表示

1 枚に 1 コマの映像データを表示します。

- 4 コマ表示

1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

1-6 [OK] をクリックする



印刷します。

レポート表示

イベント記録、常時録画、履歴記録のレポートを表示し、印刷やCSV出力することができます。

※一度に複数のレポートは表示できません。

1. レポートを表示 / 印刷する

例：イベント記録のレポートを表示 / 印刷する場合

1-1 イベント記録をクリックする



・録画データの種類については…
▶ P.40「録画データの準備」

1-2 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 録画データを選択し、 (レポート表示)をクリックする

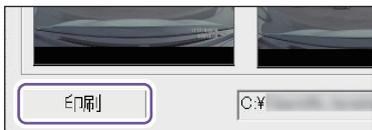


※履歴記録のレポートを表示 / 印刷する場合、読み込まれたすべての履歴記録がレポートに表示します。

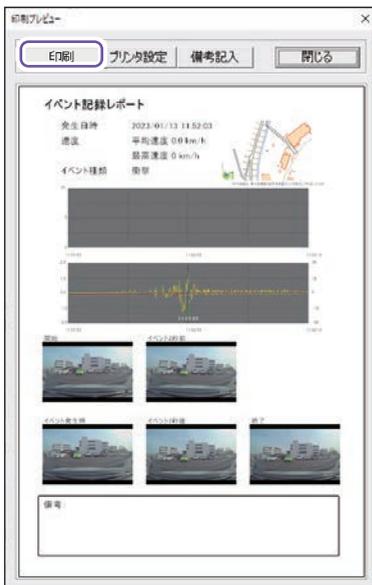
イベント記録レポート画面を表示します。

- ・イベント記録レポート画面の詳細は ▶ P.64
- ・常時録画レポート画面の詳細は ▶ P.65
- ・履歴記録レポート画面の詳細は ▶ P.66

1-4 印刷する場合は、[印刷]をクリックする

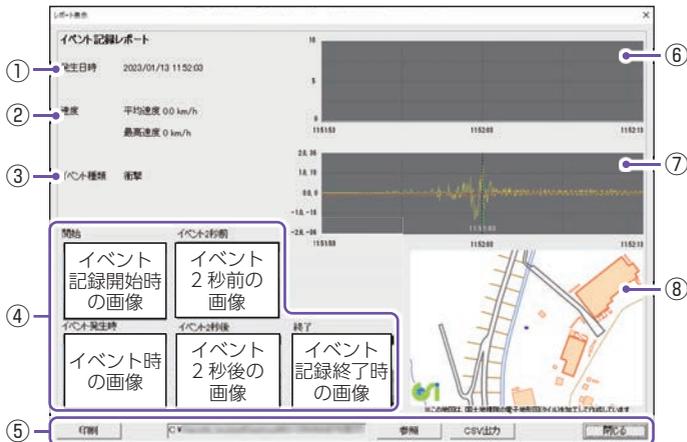


1-5 [印刷]をクリックする



印刷します。

イベント記録レポート画面

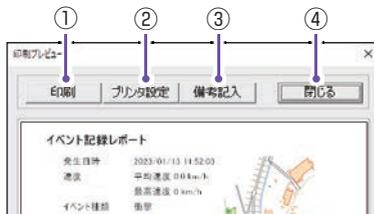


No.	表示名	説明	
①	発生日時	イベント発生日時を表示します。	
②	速度	平均速度、最高速度を表示します。	
③	イベント種類	イベントの種類を表示します。	
④	画像	録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。	
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)	
⑦	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)	
⑧	地図	地図を表示します。	

※ 速度に関する表示(グラフを含む)や地図は、GPS非測位時には表示されません。

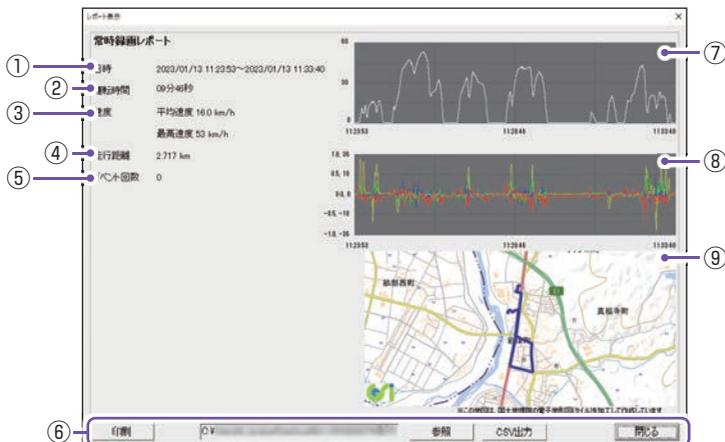
■ ボタン：印刷

イベント記録レポートの印刷プレビュー画面を表示します。



No.	表示名	説明
①	印刷	印刷します。
②	プリンタ設定	プリンタを設定します。
③	備考記入	備考欄に記入できます。
④	閉じる	印刷プレビューを閉じます。

常時録画レポート画面



No.	表示名	説明	
①	日時	録画データの日時を表示します。	
②	運転時間	運転時間を表示します。	
③	速度	平均速度、最高速度を表示します。	
④	走行距離	走行距離を表示します。	
⑤	イベント回数	イベント回数を表示します。	
⑥	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑦	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)	
⑧	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)	
⑨	地図	地図を表示します。	

※ 速度に関する表示(グラフを含む)や地図は、GPS非測位時には表示されません。

■ ボタン：印刷

常時録画レポートの印刷プレビュー画面を表示します。



No.	表示名	説明
①	印刷	印刷します。
②	プリンタ設定	プリンタを設定します。
③	備考記入	備考欄に記入できます。
④	閉じる	印刷プレビューを閉じます。

履歴記録レポート画面



No.	表示名	説明	
①	日付	記録年月日を表示します。	
	時刻	記録開始から終了の時刻を表示します。	
	運転時間	運転時間を表示します。	
	走行距離	走行距離を表示します。	
	平均速度	平均速度を表示します。	
	最高速度	最高速度を表示します。	
	衝撃	「衝撃」イベントの回数を表示します。	
	急発進	「急発進」イベントの回数を表示します。	
	急ブレーキ	「急ブレーキ」イベントの回数を表示します。	
	急ハンドル	「急ハンドル」イベントの回数を表示します。	
	ワンタッチ	「ワンタッチ」イベントの回数を表示します。	
	急旋回	本機では使用しません。	
回数	イベント回数の合計を表示します。(その他のイベントも含まれます。)		
②	地図	地図を表示します。	
③	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。

※ 速度に関する表示や地図は、GPS非測位時には表示されません。

ログデータ変換

1. Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴記録をKMLファイルに変換し、Google Earth上で全走行ルートを表示します。また、記録した映像を静止画に変換(☛ P.58)し、Google Earthの機能を使用するとルート上に表示/保存します。

※あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earth Pro(プロ)をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

※Google Earth Pro(プロ)の使用方法は、Google Earthのホームページをご確認ください。

1-1 [履歴記録]をクリックする



1-2 データ名一覧より、変換したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



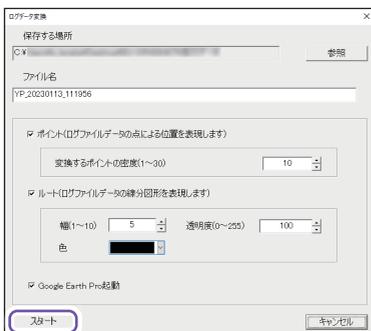
※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

1-3 録画データを選択し、 (ログデータ変換)をクリックする



1-4 保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、 [スタート]をクリックする



■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS 測位による 1 秒間隔の自転車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

・変換するポイントの密度：(1 ~ 30)

Google Earth に表示させる自転車位置の間隔を秒数 (1 ~ 30) で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く (広く) なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

・幅(1 ~ 10)

走行軌跡表示の幅を設定します。

・透明度(0 ~ 255)

走行軌跡表示の透明度を設定します。0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

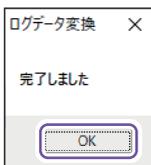
・色

走行軌跡表示の色を設定します。

■ Google Earth Pro 起動

ログファイル保存完了後、Google Earth Pro(プロ)を自動で起動します。

1-5 [OK]をクリックする



データ変換が完了します。

※[Google Earth Pro 起動]に✓を入れると、ログファイル保存完了後 Google Earth Pro(プロ)が起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※走行軌跡は Google Earth 上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

設定画面の表示方法

1. 記録設定画面を表示する

各種の設定変更やSDカードの初期化や録画データのバックアップ、SDカードからの録画データの削除を行うことができます。

※ 設定変更を行うときは、必ずSDカードをSDカードリーダーに接続してご使用ください。設定内容はSDカードに保存されます。SDカードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。

1-1 (記録設定) をクリックする



記録設定を表示します。



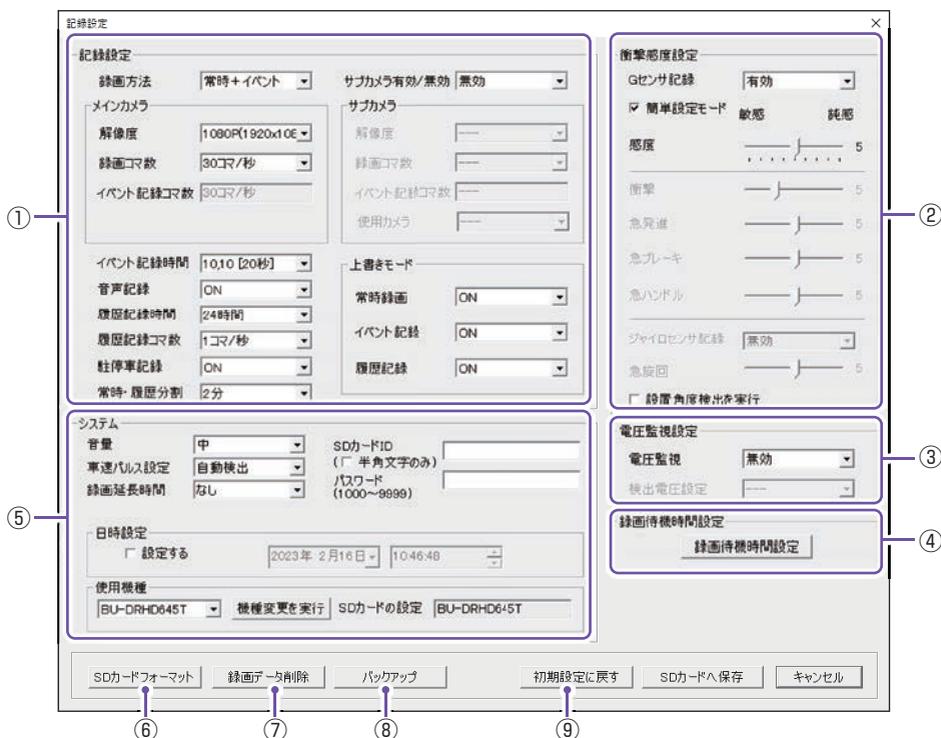
※ [ツール] → [記録設定] をクリックしても同じ画面を表示します。

■ 設定を変更する前に…

[使用機種]が[SDカードの設定：BU-DRHD645T]になっているかを確認してください。(● P.85「SDカードの機種設定を確認する」)

※ 異なる機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。(● P.86「SDカードの機種設定を変更する」)

記録設定



No.	表示名	説明
①	記録設定	録画やカメラなどの設定をします。(P.72)
②	衝撃感度設定	Gセンサー記録や設置角度検出の設定をします。(P.74)
③	電圧監視設定 ^{※1}	設定した電圧以下のなると電源OFFします。(P.74)
④	録画待機時間設定 ^{※1}	設定すると電源ONからすぐに録画を開始します。(P.75)
⑤	システム	警告音や日時、使用機種などの設定をします。(P.75)
⑥	SDカードフォーマット	SDカード内のデータを全て消去します。(P.76)
⑦	録画データ削除	録画データを削除します。
	記録設定データ初期化	記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。(P.78)
⑧	バックアップ	SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップします。(P.79)
⑨	初期設定に戻す	記録設定データを初期化します。(P.79)

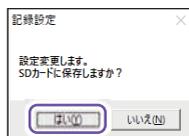
※ 1：付属の車両接続ケーブル(+B)の接続が必要になります。

■ 設定を変更したら変更内容をSDカードへ保存するために、必ず下記の手順を行ってください。

① [SDカードへ保存]をクリックする



② [はい]をクリックする



1. 記録設定

★：初期値

項目	設定	説明	
録画方法 ※1	常時録画	車両始動(ACC ON)から車両停止(ACC OFF)までの映像をSDカードに記録します。 ※ [常時録画]に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。	
	イベント記録	衝撃を検知、または記録ボタンを押した場合に映像を記録します。	
	常時+イベント(★)	常時録画を行いながらイベントを検出した場合、映像を別のデータで記録します。 ※ メインカメラを[解像度：1080P]、[録画コマ数：30コマ/秒]に設定し、サブカメラを[有効]、[解像度：1080P]に設定した場合、[録画方法：常時+イベント]は選択できません。 ※ [イベント記録コマ数]が表示されます。	
メインカメラ	解像度	VGA(640×480)、720P(1280×720)、1536×1080、1080P(1920×1080)(★)	記録する映像の解像度を選択します。
	録画コマ数	30コマ/秒(★)、15コマ/秒、10コマ/秒、5コマ/秒、1コマ/秒、2コマ/分、1コマ/分、12コマ/時、6コマ/時	記録する映像のコマ数を選択します。 ※ 録画コマ数を[1コマ/秒]以下に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]で固定になります。 ※ [2コマ/分]以下に設定した場合、駐停車記録は使用できません。(● P.73 [駐停車記録])
	イベント記録コマ数	—	[メインカメラ：録画コマ数]に連動します。
	使用カメラ	標準(固定)	本機では変更できません。

※1：すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([常時録画]から[イベント記録]への変更など)は、SDカードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。(● P.56)

項目	設定	説明	
イベント記録時間	10,10[20秒](★)、12,8[20秒]、15,5[20秒]、18,12[30秒]、20,10[30秒]、25,5[30秒]、20,20[40秒]、25,15[40秒]、30,10[40秒]、30,20[50秒]、25,25[50秒]、40,10[50秒]、30,30[60秒]、40,20[60秒]、50,10[60秒]	イベント記録時間を選択します。衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせで選択できます。 ※ サブカメラを[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。	
音声記録	ON(★)、OFF	音声を記録する場合、[ON]にします。	
履歴記録時間	24時間(★)、168時間、480時間	ログ(位置/加速度/時間)を記録する時間を選択します。	
履歴記録コマ数	1コマ/秒(★)、2コマ/秒	1秒間に記録する履歴記録のコマ数を選択します。	
駐停車記録	ON(★)、OFF	常時録画中に加速度センサーの変動値が一定以下の状態が約5分間続くと、録画コマ数が1コマ/秒となり駐停車記録の録画に切り替わります。走行を開始するなど一定の振動を検知すると、元の録画コマ数に戻ります。(● P.90) ※ メインカメラの録画コマ数を[2コマ/分]以下に設定した場合、駐停車記録は使用できません。	
常時・履歴分割	なし、2分(★)	本機では使用しません。	
サブカメラ有効/無効	有効、無効(★)	別売品のサブカメラ(● P.11)を接続して録画を行う場合、[有効]にします。	
サブカメラ	解像度 ※2	VGA(640×480)、720P(1280×720)、1536×1080、1080P(1920×1080)	記録する映像の解像度をメインカメラ以下で選択します。
	録画コマ数 ※2	30コマ/秒、15コマ/秒、10コマ/秒、5コマ/秒、1コマ/秒、2コマ/分、1コマ/分、12コマ/時、6コマ/時	記録する映像の解像度をメインカメラ以下で選択します。
	イベント記録コマ数	30コマ/秒(固定)	本機では変更できません。
	使用カメラ	標準 [OP-CM204S]、 周囲 [OP-CM363S]、 IR [OP-CM206IR]	サブで使用しているカメラを選択します。
上書きモード	常時録画(ON★/OFF)、 イベント記録(ON★/OFF)、 履歴履歴(ON★/OFF)	[ON]の場合、SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。 [OFF]の場合、容量がいっぱいになると映像は保存されません。	

※2：[サブカメラ有効/無効]が[有効]の場合のみ、変更することができます。また、サブカメラ設定を[有効]にした場合、イベント記録時間がメインカメラのみで記録した場合と異なります。

2. 衝撃感度設定

★：初期値

項目	設定	説明
Gセンサー記録	有効(★)、無効	Gセンサー記録を使用する場合[有効]を選択します。 (● P.15) ※ [有効]にした場合、[常時録画]に設定していても衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。 ※ [無効]にした場合、すべての録画方法においてGセンサー記録を行いません。
簡単設定モード ※1	1、2、3、4、5(★)、6、7、8、9	簡単設定モードに✓を入れると、敏感(1)～鈍感(9)の9段階で衝撃感度を設定できます。 ※ 簡単設定モードの✓を外すと、衝撃を鈍感～敏感までの15段階、急発進/急ブレーキ/急ハンドルの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定できます。 ※ 加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴りREC(青)が点滅)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。 ※ 感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。 ※ 動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。
ジャイロセンサー記録	—	本機では使用しません。
急旋回	—	
設定角度検出を実行	—	本機を初めて取り付けるときや、本機に取り付け角度を変更したときは[設置角度検出を実行]に✓を入れてください。 ※ 操作手順は ● P.33「設置角度検出をする」と ● P.36「本機の準備」を参照ください。

※ 1：[Gセンサー記録]が[有効]の場合のみ、変更することができます。

3. 電圧監視設定

※ 付属の車両接続ケーブル(+B)の接続が必要になります。

★：初期値

項目	設定	説明
電圧監視	有効、無効(★)	[有効]にすると録画延長中に常時電源(+B)の電圧を監視します。
検出電圧指定	11.6V、11.8V、12.0V、12.2V、23.6V、23.8V、24.0V、24.2V	設定した電圧以下になると電源を遮断します。

4. 録画待機時間設定

あらかじめ録画待機時間設定を行うことで電源ONからすぐに録画を開始することができます。待機したい曜日の時刻にカーソルを合わせ、左クリックで登録/解除(クリア)できます。設定後は[OK]をクリックしてください。

※待機中は消費電力が増加します。あらかじめご了承ください。

※付属の車両接続ケーブル(+B)の接続が必要になります。



5. システム

★：初期値

項目	設定	説明
音量	OFF、小、中(★)、大	イベント記録時の音や警告時の音声の音量を選択します。
録画延長時間 ※1	なし(★)、1分、3分、5分	車両停止(ACC OFF)しても設定時間は電源を保持します。短時間の荷物の積み下ろし時などで録画を行う場合に設定してください。
車速 パルス設定 ※2	自動設定(★)	30km/hから60km/hで60秒間走行すると、自動的にパルスを判断し、設定されます。通常はこちらでご使用ください。 ※取得した情報により設定パルス以外の数値が表示される場合があります。
	2、4、8、16、20、25、 (パルス/回転)	設定したパルス固定となります。印刷画面(● P.60)を表示させ、速度(GPS値)と速度(車速パルス)の値が近い値となるようにパルス数を選択してください。
SD カードID	—	SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。 ※ [□半角文字のみ]に✓を入れると、入力は半角のみとなります。
パスワード	—	設定を変更できないようにパスワードを設定できます。(1000 ~ 9999 の4桁)
使用機種	—	使用する機種を選択します。 ※ 操作手順は ● P.86[SDカードの機種設定を変更する]を参照ください。
日時設定	—	[設定する]に✓を入れ、日付や時刻を設定できます。 ※ 本機の電源ONするとSDカードから読み込み、日時を補正します。 ※ 手動設定する場合は、現在時刻ではなく、次に本機の電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。 ※ GPSより日時情報を取得し、一度電源OFFした際に、本体時刻の補正が自動的に行われます。

※1：付属の車両接続ケーブル(+B)の接続が必要になります。

※2：付属の車両接続ケーブル(車速パルス)の接続が必要になります。

6. SD カードフォーマット

一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

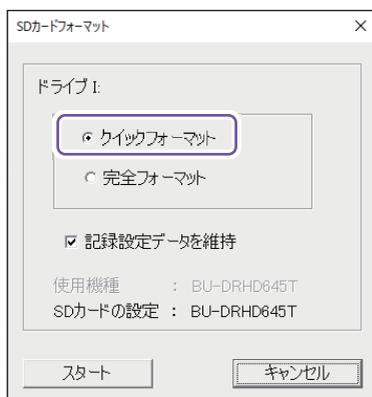
※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したカードリーダーやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

例：クイックフォーマットの場合

6-1 [SDカードフォーマット]をクリックする

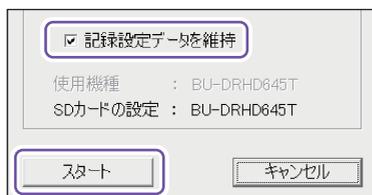


6-2 [クイックフォーマット]を選択し、[記録設定データを維持]に✓を入れ、[スタート]をクリックする

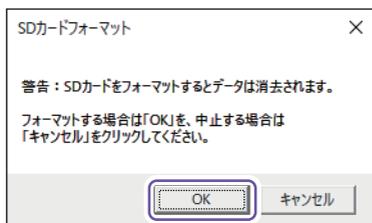


- **クイックフォーマット**
短時間でフォーマットを行います。
- **完全フォーマット**
完全にフォーマットを行います。
※クイックフォーマットよりも時間がかかります。
- **記録設定データを維持**
SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
※✓を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

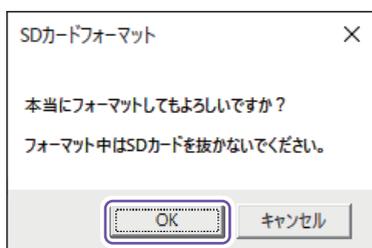
6-3 [記録設定データを維持]を確認し、[スタート]をクリックする



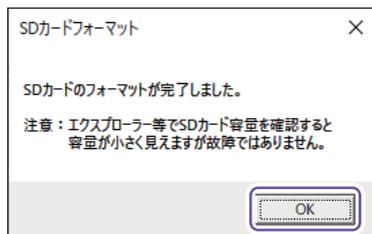
6-4 [OK]をクリックする



6-5 [OK]をクリックする



6-6 [OK]をクリックする



フォーマットが完了します。

7. 録画データ削除

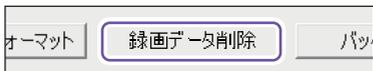
[録画データ削除]と[記録設定データ初期化]を行うことができます。

※SDカード内に記録されたデータを削除します。

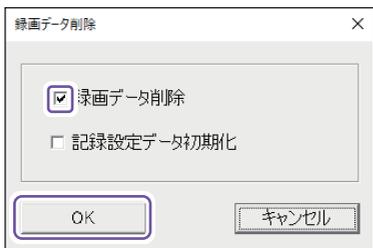
※いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(P.56)

例：録画データを削除する場合

7-1 [録画データ削除]をクリックする

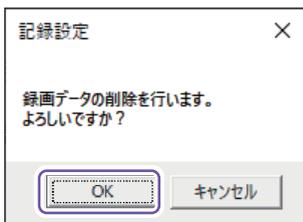


7-2 [録画データ削除]に✓を入れ、[OK]をクリックする

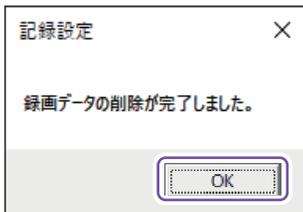


- 録画データ削除
録画データを削除します。
 - 記録設定データ初期化
記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。
- ※ 録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に✓を入れてください。

7-3 [OK]をクリックする



7-4 [OK]をクリックする



録画データの削除が完了します。

8. バックアップ

SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※操作手順は ● P.56 を参照ください。

9. 初期設定に戻す

クリックすると記録設定データを初期化します。

インフォメーション

インフォメーションでは、バージョン情報とホームページを表示できます。

1. バージョン情報を確認する

ソフトウェアや本体のバージョンなどを表示します。

1-1 メニューバーの[インフォメーション]⇒[バージョン情報]をクリックする



バージョン情報を表示します。

■ ファームウェアのバージョン情報が表示されない場合

専用ソフトにSDカードを読み込んでいない場合やSDカードに録画データが無い場合、ファームウェアのバージョン情報を表示できません。

 をクリックして、SDカードから録画データを読み込み、バージョン情報を確認してください。



1-2 [OK]をクリックする



- **製品名**
専用ソフトの名称です。
- **バージョン番号**
専用ソフトのバージョンです。
- **ファームウェア**
ドライブレコーダー本体のバージョンです。

バージョン情報の表示を閉じます。

2. ホームページを表示する

2-1 メニューバーの[インフォメーション]⇒[ホームページ]をクリックする



※画面右上の  をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

ユピテルホームページを開きます。

3. その他

「Google Maps/Google Earth 追加利用規約」「Google Privacy Policy」をクリックするとGoogleマップ/Googleアースなどの利用規約を確認することができます。

※インターネットの接続が必要になります。あらかじめパソコンをインターネットに接続してから行ってください。



別売品の SD カードを使用する前に・・・

別売品のSDカード(OP-SD16、OP-SD32、OP-SD64、OP-SD128)を本機で使用する場合、「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」が必要になります。使用前には必ず下記の手順で行ってください。

※そのまま使用した場合、正常に動作しません。あらかじめご了承ください。

※専用ソフトに接続した際に、「有効なSDカードではありません」と表示された場合にも下記の操作を行ってください。

※別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、カードリーダーがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないカードリーダーに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

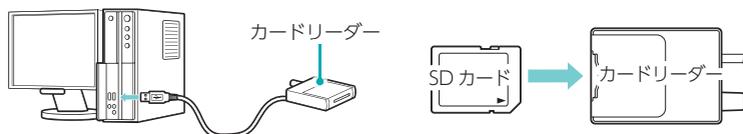
1. 本機用にフォーマットする

1-1 最新の専用ソフトに更新する

下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-4 メニューバーの[ツール]⇒[機種選択]⇒[BU]⇒[BU-DRHD645T]を選択する



PC Browserの右側に[BU-DRHD645T]と表示します。

※間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

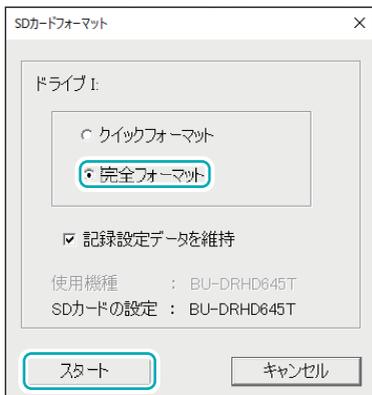
- 1-5 メニューバーの[ツール]⇒[SDカードフォーマット]を選択する



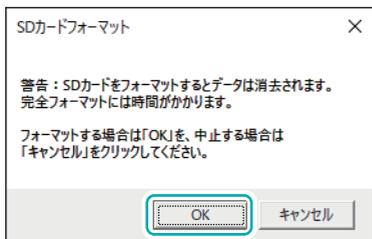
- 1-6 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



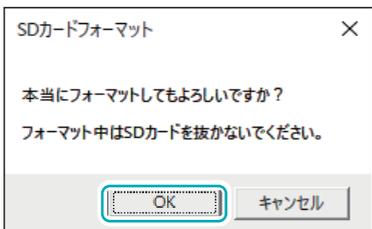
- 1-7 [完全フォーマット]を選択し、[スタート]をクリックする



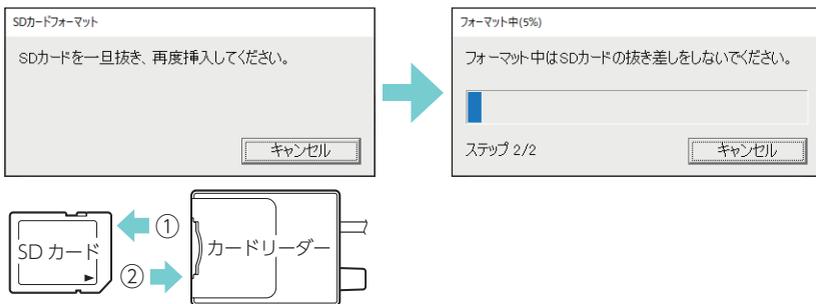
1-8 [OK]をクリックする



1-9 [OK]をクリックする

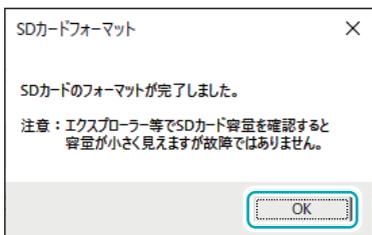


1-10 SDカードを抜き差しする



フォーマットを開始します。

1-11 [OK]をクリックする



各種設定 (☛ P.70) を行ってから
SDカードをパソコンから取り出し、
本機に装着してご使用ください。

SD カードの機種設定の確認 / 変更

専用ソフトで、SDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定と使用するドライブレコーダーが異なると、録画できない場合があります。使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更してください。(P.86)

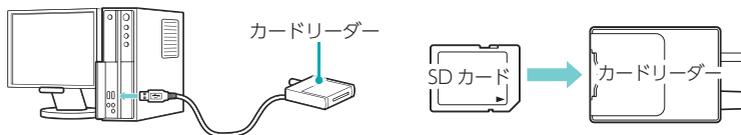
1. SD カードの機種設定を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

下記の URL から最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



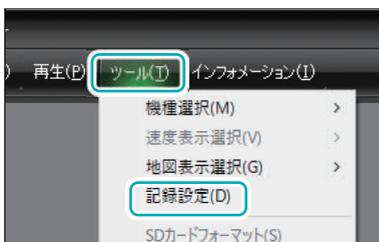
※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



1-4 メニューバーの[ツール]⇒[記録設定]を選択する



1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



設定画面の[SDカードの設定]に設定している機種名が表示されます。

2. SDカードの機種設定を変更する

例：[BU-DRHD645T]に変更する場合

2-1 設定画面の[使用機種] をクリックし、使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行]をクリックする



2-3 [SDカードへ保存]をクリック、[はい]をクリックする



使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データを削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- 電源コードが外れていないかご確認ください。
- 電源内部のヒューズが切れていないかご確認ください。(● P.17)

映像が記録できない

- 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。(● P.12)
付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。
車両を停止(ACC OFF)し、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。
- 記録設定の上書きモードが[OFF]になっていませんか。
上書きモードがOFFの場合上書きができません。
SDカードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。(● P.70)

イベント記録が正常に動作しない

- 加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。(● P.74)
感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- 「設置角度検出」を行ってください。(● P.33)
本機を初めて取り付けるときや設置角度を変更した場合は、設置角度検出を実行してください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

記録した映像が映らない

- 専用ソフトで再生していますか。
弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールしてください。(● P.32)

SDカードに録画データが保存されていない

- 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。(● P.76)
- SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属または別売品のSDカード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

速度が表示されない

- GPSが測位されていないと速度は表示されません。

感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。

ビルの谷間など視界の悪い場所では20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物の無い視界の良い場所へ移動し、車を停車してGPS信号を受信してください。



本機から『ブブブ』と警告音が鳴る

- サブカメラが本体に正しく接続されていますか。(サブカメラ増設時)

サブカメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両を停止(ACC OFF)し、サブカメラをカメラケーブルで正しく接続してください。

※専用ソフトの設定が[サブカメラ：無効]になっている場合、サブカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。

専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザーの権限を確認してください。(3.5)」と表示される

- 「管理者権限」で専用ソフトを起動していますか。

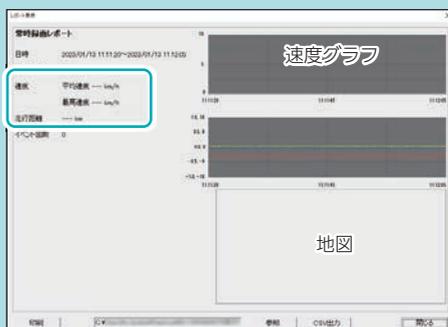
パソコンのローカルディスクC：¥Program Files^{※1} ¥PC Browser フォルダを開いて、「PCBrowser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「互換性」タブ内の、「特権レベル」から、「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

※1：32bit環境の場合は「Program Files」と表示され、64bit環境では「Program Files(x86)」と表示されます。

レポート表示の速度、距離に関する表示および地図が表示されない

- GPS 非測位時には、以下の内容は表示しません。

- ・速度に関する表示
(平均速度、最高速度、速度グラフ)
- ・距離に関する表示(走行距離)
- ・地図



<例：常時録画レポート>

専用ソフトでSDカードを読み込むと「有効なSDカードではありません」と表示される

□ 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。

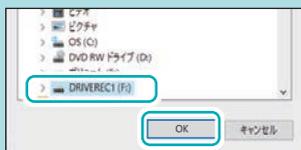
- ①メニューバーの[ツール]⇒[機種選択]⇒[BU]⇒[BU-DRHD645T]を選択する



- ②メニューバーの[ツール]⇒[SDカードフォーマット]を選択する



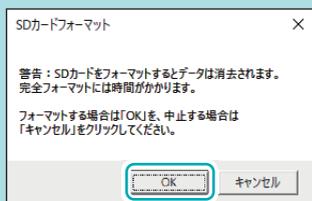
- ③[DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



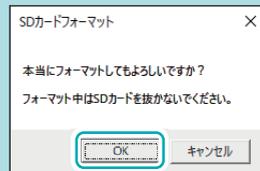
- ④[スタート]をクリックする



- ⑤[OK]をクリックする



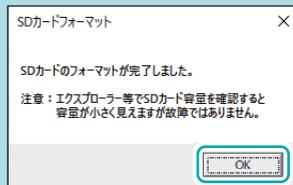
- ⑥[OK]をクリックする



- ⑦SDカードを抜き差しする



- ⑧[OK]をクリックする



動作一覧

		本機の動作	ランプの状態
通常時	常時録画中	—	REC(青)：点灯 
		上書き時	REC(青)：点滅(遅い) 
	イベント記録待機中 ・録画方法 [イベント記録]	—	REC(青)：消灯 
	イベント記録中 ・G センサーが一定以上の衝撃を検知したとき ・記録ボタンを押したとき	—	REC(青)：点滅(早い) 
		上書き時	REC(青)：点滅(3回点滅を繰り返す) 
	駐停車記録時	—	REC(青)：1秒点灯3秒消灯 
上書き時		REC(青)：1秒点滅3秒消灯 	
エラー時	データ容量の上限に達したとき	常時録画	REC(青)：点滅  POWER(緑)：点滅 
		イベント記録	
		履歴記録	
	付属のSDカードが正しく挿入されていないとき		
	SDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっているとき		
本機専用以外のSDカードが挿入されているとき			

	警告音	ページ	備考/対処法
	—	☛ P.14	
	—	☛ P.15	
	イベント開始時「ピー」と鳴る	☛ P.15	
	—	☛ P.73	
	『常時録画の容量が不足しているため、録画を開始できません』	☛ P.16	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 容量が大きい SD カードで録画する (☛ P.11) • 専用ソフトで[上書きモード: ON]にする (☛ P.73) • 専用ソフトで「解像度」や「録画コマ数」を変更する (☛ P.72)
	『イベント記録の容量が不足しているため、イベント記録ができません』		
	『ピーピーピーピー』と4回鳴る		
	『SDカードが挿入されていません。SDカードを確認してください』	—	付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両を停止(ACC OFF)し、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(☛ P.12)
	『SDカードエラーです』		
			<ul style="list-style-type: none"> • 付属または本機専用のSDカードを正しく挿入してください。(☛ P.12) • SDカードを専用ソフトでフォーマットしてください。(☛ P.76)

仕様

外形寸法	92 (幅) × 50 (直径) mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 69(高さ)mm(窓ガラス 25° 想定の場合)	
本体重量	約 145g (SD カード含む)	
記録媒体	専用SD カード (16GB ~ 128GB) 対応 (16GB 付属) ※ 付属、別売品のSD カード以外は使用しないでください。	
撮像素子	200 万画素 カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ²)	
最大記録画角※ ¹	対角 161° (水平 135°、垂直 71°)	
記録解像度	最大 200 万画素※ ³	1080P (1920 × 1080)、1536 × 1080、720P (1280 × 720)、VGA (640 × 480)
F 値	2.0	
GPS	有	
G センサー	有 (感度設定可能)	
ジャイロセンサー	有 (値取得のみ)	
HDR	有	
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)	
記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録 < 手動録画 >) / 常時録画 + イベント記録	
録画データ構成	常時録画 : 分割なし イベント記録 : 20 秒単位、30 秒単位、40 秒単位、50 秒単位、60 秒単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	30 コマ / 秒、15 コマ / 秒、10 コマ / 秒、5 コマ / 秒、1 コマ / 秒、 2 コマ / 分※ ⁴ 、1 コマ / 分※ ⁴ 、12 コマ / 時※ ⁴ 、6 コマ / 時※ ⁴	
映像ファイル形式	独自フォーマット	
記録映像再生方法	専用ブラウザソフト※ ⁵	
電源電圧	DC12V/24V マイナスアース車専用 (5V 入力)	
消費電力	7W (サブカメラ増設時 : 9W)	
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
製品保証期間	3 年 (消耗部品は除く)	

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※ 1 : 解像度により記録される視野角が変化します。広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※ 2 : STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。

※ 3 : 専用ブラウザソフトの画像処理で減少します。

※ 4 : メインカメラの録画コマ数を [1 コマ / 秒] 以下に設定した場合、イベント記録コマ数は [1 コマ / 秒] で固定となります。

※ 5 : Microsoft Windows 11、10 に対応。

- ・ STARVIS は、ソニーグループ株式会社の商標です。
- ・ Google、Google マップ、Google Earth は、Google LLC の商標です。
- ・ [Windows®]、[Microsoft® Windows®] は、Microsoft Corporation の、商標または登録商標です。
- ・ その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

別売品：広角サブカメラ(OP-CM204S)

外形寸法	54 (幅) × 33 (直径) mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時42(高さ)mm (窓ガラス25° 想定の場合)	
本体重量	約42g (ブラケット含む)	
撮像素子	200万画素 カラー CMOS (STARVIS™技術搭載※ ²)	
最大記録画角※ ¹	対角161° (水平135°、垂直71°)	
記録解像度	最大200万画素※ ³	1080P (1920 × 1080)、1536 × 1080、720P (1280 × 720)、VGA (640 × 480)
F値	2.0	
HDR	有	
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)	
電源電圧	DC5V(接続機器から給電)	
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C	

別売品：周囲サブカメラ(OP-CM363S)

外形寸法	40 (幅) × 45 (高さ) × 33 (奥行)mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時56(高さ)mm (窓ガラス25° 想定の場合)	
本体重量	約50g (ブラケット含む)	
撮像素子	200万画素 カラー CMOS (STARVIS™技術搭載※ ²)	
最大記録画角※ ¹	水平360° × 垂直210°	
記録解像度	最大200万画素※ ³	1080P (1920 × 1080)、1536 × 1080、720P (1280 × 720)、VGA (640 × 480)
F値	2.0	
HDR	有	
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)	
電源電圧	DC5V(接続機器から給電)	
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C	

別売品：IRサブカメラ(OP-CM206IR)

外形寸法	55 (幅) × 33 (直径) mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時42(高さ)mm (窓ガラス25° 想定の場合)	
本体重量	約46g (ブラケット含む)	
撮像素子	200万画素 カラー CMOS (STARVIS™技術搭載※ ²)	
最大記録画角※ ¹	対角151° (水平124°、垂直64°)	
記録解像度	最大200万画素※ ³	1080P (1920 × 1080)、1536 × 1080、720P (1280 × 720)、VGA (640 × 480)
F値	2.0	
HDR	有	
最低被写体照度	0LUX (ルクス) ※赤外線照射時	
電源電圧	DC5V(接続機器から給電)	
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C	

別売品：オプションカメラ中継ユニット(OP-CRU1)

外形寸法	66 (幅) × 23 (高さ) × 32 (奥行)mm (突起部除く)	
本体重量	約40g	
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C	

録画時間の目安

付属のSDカード(16GB)の場合、以下ようになります。

※下記表は目安で、絶対保証値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画可能時間と件数は変化します。

※録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。

※32GBの場合は16GBの2倍、64GBの場合は16GBの4倍、128GBの場合は16GBの8倍の録画時間・イベント記録件数になります。

※サブカメラを増設した場合、録画時間/イベント記録件数は半分になります。

※[常時+イベント]はおおよそですが、SDカード容量を常時70%、イベント30%で使用します。

1. 録画時間

■ 録画方法 [常時録画] の場合

初期値：★

SDカード容量 (16GB)		解像度			
		1080P(★)	1536×1080	720P	VGA
録 画 コ マ 数	30コマ/秒(★)	240分	320分	440分	760分
	15コマ/秒	480分	640分	880分	1,520分
	10コマ/秒	720分	960分	1,280分	2,280分
	5コマ/秒	1,440分	1,920分	2,560分	4,600分
	1コマ/秒	3,600分	4,800分	6,400分	11,600分
	2コマ/分	1,800時	2,400時	3,200時	5,800時
	1コマ/分	3,600時	4,800時	6,400時	11,600時
	12コマ/時	18,000時	24,000時	32,000時	58,000時
6コマ/時	36,000時	48,000時	64,000時	116,000時	

2. イベント記録件数

■ 録画方法 [イベント記録]、イベント記録コマ数 [30 コマ / 秒] の場合

初期値：★

SDカード容量 (16GB)		解像度			
		1080P(★)	1536×1080	720P	VGA
イ ベ ン ト 記 録 時 間 (※1)	合計20(秒)(★)	720件	960件	1,280件	2,400件
	合計30(秒)	480件	640件	840件	1,600件
	合計40(秒)	360件	480件	640件	1,200件
	合計50(秒)	300件	400件	540件	1,000件
	合計60(秒)	240件	320件	440件	800件

※1：イベント発生前後のイベント記録時間を合計した時間になります。

